

IXY 650 m

使用説明書 活用編

日本語

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」(📖12)をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。
- 右下のボタンをクリックすると、ページを移動できます。
 - ▶ : 次のページ
 - ◀ : 前のページ
 - 🔗 : リンクをクリックする直前に表示していたページ
- 右端にある章のタイトルをクリックすると、各章の先頭ページに移動します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

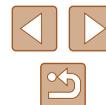
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



お使いになる前に

最初にお読みください

カメラと付属品の確認

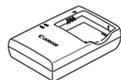
お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。
万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



カメラ



バッテリーパック
NB-11LH*



バッテリーチャージャー
CB-2LF



リストストラップ

* バッテリーに外装として貼り付けられているラベルは、はがさないでください。

- 上記のほか、印刷物一式が入っています。
- メモリーカードは付属されていません (P.2)。

使えるカード（市販品）について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- microSD/microSDHC/microSDXC メモリーカード



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

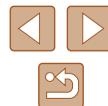
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 画面（モニター）は、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなる場合があります。これは故障ではありません。

このガイドの記載について

- カメラのボタンやスイッチは、ボタンやスイッチに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部材は、絵文字で示しています。また、()内は「各部のなまえ」(書4)にある該当する操作部材の番号を示しています。
 - [▲] 背面(⑤)上ボタン
 - [◀] 背面(⑥)左ボタン
 - [▶] 背面(⑩)右ボタン
 - [▼] 背面(⑦)下ボタン
- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ⓘ : 知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- ✎ : 上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- 書xx : 参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの下にある「▶ 静止画」「▶ 動画」は、その機能が静止画や動画を撮るときや見るときに使えるかを示しています。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

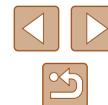
Wi-Fi機能

設定メニュー

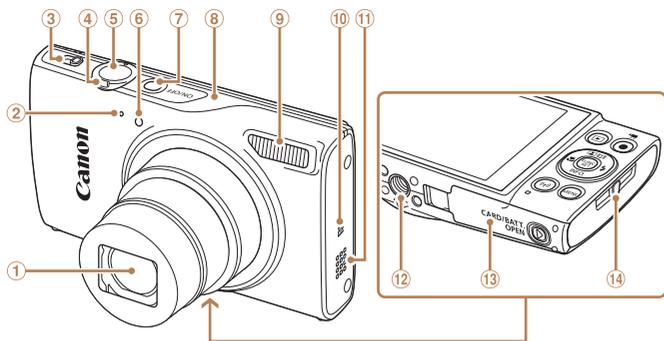
アクセサリ

付録

索引

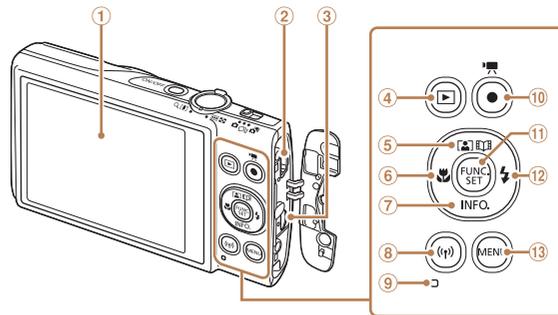


各部のなまえ



- ① レンズ
- ② マイク
- ③ モードスイッチ
- ④ ズームレバー
撮影時：[] (望遠) /
[] (広角)
再生時：[Q] (拡大) /
[] (インデックス)
- ⑤ シャッターボタン
- ⑥ ランプ (前面)
- ⑦ 電源ボタン
- ⑧ Wi-Fi 通信部
- ⑨ ストロボ
- ⑩ **N** (N マーク)*
- ⑪ スピーカー
- ⑫ 三脚ねじ穴
- ⑬ カード/バッテリー収納部ふた
- ⑭ ストラップ取り付け部

* NFC 機能 ([] 87) で使います。



- ① 画面 (モニター)
- ② A / V OUT (映像/音声出力)・DIGITAL (デジタル) 端子
- ③ HDMI™ 端子
- ④ [] (再生) ボタン
- ⑤ [] (オートズーム) / [] (ストーリーハイライト) / 上ボタン
- ⑥ [] (マクロ) / 左ボタン
- ⑦ **INFO.** (インフォメーション) / 下ボタン
- ⑧ [] (Wi-Fi) ボタン
- ⑨ ランプ (背面)
- ⑩ 動画ボタン
- ⑪ **FUNC./SET** (ファンクション/セット) ボタン
- ⑫ [] (ストロボ) / 右ボタン
- ⑬ **MENU** (メニュー) ボタン

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

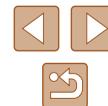
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



目次

お使いになる前に

最初にお読みください.....	2
カメラと付属品の確認.....	2
使えるカード（市販品）について.....	2
お使いになる前にお読みください.....	3
このガイドの記載について.....	3
各部のなまえ.....	4
やりたいこと目次.....	10
安全上のご注意.....	12

基本編

カメラの基本操作.....	14
準備する.....	14
ストラップを取り付ける.....	14
カメラを構える.....	14
バッテリーを充電する.....	15
バッテリーとカードを入れる.....	15
バッテリーとカードを取り出す.....	16
日付／時刻を設定する.....	16
日付／時刻を変える.....	17
表示言語を選ぶ.....	18
使ってみる.....	18
撮る（こだわりオート）.....	18
見る.....	20
消す.....	20

活用編

カメラを知る.....	21
電源の入れかた／切りかた.....	21
節電機能（オートパワーオフ）.....	22
撮影モードでの節電機能.....	22
再生モードでの節電機能.....	22
シャッターボタンの押しかた.....	22
撮影時の画面表示の切り換えかた.....	23
FUNC.（ファンクション）の表示と操作方法.....	23
MENU（メニュー）の表示と操作方法.....	24
文字の入力方法.....	25
ランプの表示.....	26
時計機能.....	26
オートモード / プラスムービーオートモード.....	27
カメラまかせで撮る.....	27
オートモードで撮る（こだわりオート）.....	27
プラスムービーオートモードで撮る.....	29
ダイジェスト動画の再生について.....	30
静止画／動画.....	30
静止画.....	30
動画.....	31
シーンのアイコン.....	31
手ブレ補正アイコン.....	32
画面に表示される枠.....	33
よく使う機能や便利な機能を使う.....	33
被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）.....	33
被写体の動きに応じて自動でズームさせる （オートズーム）.....	34

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

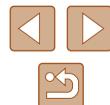
索引



セルフタイマーを使う	35
セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ	35
セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える	35
ストロボを光らせない	36
日付を写し込む	36
連続して撮る	37
自分好みの画像を撮るための機能を使う	37
縦横比（アスペクト比）を変える	37
記録画素数（画像の大きさ）を変える	38
用紙の大きさと選ぶときの目安 （縦横比 4:3 のとき）	38
動画の画質を変える	38
撮影の手助けとなる機能を使う	39
グリッドラインを表示する	39
ピント位置を拡大表示する	39
手ブレ補正の設定を変える	40
手ブレ補正を使わないようにする	40
撮影前の画面と同じ大きさと動画を撮影する	40
自分好みに機能を変える	41
AF 補助光（ランプ）を切る	41
赤目緩和機能（ランプ）を切る	41
撮影直後の画面表示を変える	42
撮影直後の画像表示時間を変える	42
撮影直後に表示される画面を変える	42
いろいろな撮影モード	43
多彩な写真を撮る（クリエイティブショット）	43
再生したときの表示について	44
効果を選ぶ	44
いろいろなシーンで撮る	45

効果をつけて撮る	46
魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）	46
ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）	47
倍速と再生時間の目安 （動画を 1 分間撮影したとき）	47
トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）	48
単色で撮る（モノクロ）	48
特殊なモードでいろいろな画像を撮る	49
顔を見つけて撮る（オートシャッター）	49
笑顔を見つけて撮る（スマイル）	49
ウインクしたら撮る（ウインクセルフタイマー）	49
人が増えたら撮る（顔セルフタイマー）	50
長秒時露光で撮る（長秒時撮影）	51
高速で連続して撮る（ハイスピード連写）	51
P モード	52
プログラム AE で撮る（[P] モード）	52
明るさ（露出）に関する機能を使う	53
明るさを変える（露出補正）	53
測光方式を変える	53
ISO 感度を変える	54
明るさを補正して撮る（i-コントラスト）	54
色に関する機能を使う	55
色あいを調整する（ホワイトバランス）	55
マニュアルホワイトバランス	55
画像の色調を変える（マイカラー）	55
カスタムカラー	56
撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う	57
近くの被写体を撮る（マクロ撮影）	57
遠くの被写体を撮る（遠景撮影）	57
デジタルテレコンバーターを使う	58

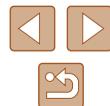
お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/プラス ムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
再生モード
Wi-Fi機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



AF フレームモードを変える	58
顔優先 AiAF	58
ピントを合わせたい被写体を選んで撮る (キャッチ AF)	59
中央	60
サーボ AF で撮る	60
フォーカス設定を切り換える	61
ストロボに関する機能を使う	61
ストロボモードを変える	61
オート	61
常時発光	61
スローシンクロ	61
発光禁止	62
撮影スタイルにあわせて機能を変える	62
圧縮率 (画質) を変える	62
手ブレ補正の設定を変える	62
再生モード	63
見る	63
表示を切り換える	64
高輝度 (ハイライト) 警告	65
ヒストグラム	65
GPS 情報表示	65
静止画を撮影したときに作成された短編動画 (ダイジェスト動画) を見る	65
日付ごとに選んで見る	66
画像を探したり、特定の画像だけを見る	66
一覧表示 (インデックス表示) で画像を探す	66
指定した条件で画像を探す	67
グループ化された画像を 1 枚ずつ見る	68
いろいろな方法で画像を見る	69
拡大して見る	69

スライドショーで見る	69
設定を変える	70
いろいろな画像を表示する (連想再生)	70
保護する	71
メニューから操作する	71
1 枚ずつ指定する	72
範囲で指定する	72
すべての画像を保護する	73
すべての画像の保護を解除する	73
消す	73
まとめて消す	74
指定方法を選ぶ	74
1 枚ずつ指定する	74
範囲で指定する	75
すべての画像を指定する	75
回転する	75
メニューから操作する	76
自動回転機能を切る	76
お気に入り設定をする	77
メニューから操作する	77
静止画を編集する	78
画像を小さくする (リサイズ)	78
画像を切り抜く (トリミング)	78
画像の色調を変える (レタッチマイカラー)	79
明るさを補正する (i-コントラスト)	80
赤目を補正する	80
動画を編集する	81
ダイジェスト動画を編集する	82
アルバムを見る (ストーリーハイライト)	83
アルバムを作成するときに選べる抽出条件	83
アルバムに BGM をつける	84
自分好みのアルバムを作る	84

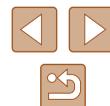
お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/プラス ムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
再生モード
Wi-Fi機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



Wi-Fi 機能	86
Wi-Fi ができること.....	86
スマートフォンに画像を送る.....	87
NFC 対応のスマートフォンに画像を送る.....	87
撮影モード/電源を切っているときの NFC 接続.....	87
再生モードでの NFC 接続.....	89
スマートフォンを登録する.....	90
ほかのアクセスポイントを使う.....	92
接続したことのあるアクセスポイントがあるとき.....	92
Web サービスを登録して画像を送る.....	93
image.canon を登録する.....	93
image.canon に画像を送る.....	95
別のカメラに画像を送る.....	95
画像送信について.....	96
複数の画像を送信する.....	96
範囲で指定する.....	96
お気に入り設定した画像を送る.....	97
画像送信時の注意事項.....	97
記録画素数 (画像の大きさ) を選ぶ.....	97
スマートフォンでカメラ内の画像や	
カメラを操作する.....	98
カメラ内の画像に GPS 情報を記録する.....	98
リモート撮影をする.....	98
Wi-Fi の設定を編集 / 消去する.....	99
接続情報を編集する.....	99
接続先のニックネームを変更する.....	100
接続情報を消去する.....	100
カメラのニックネームを変える.....	100
Wi-Fi の設定を初期化する.....	101

設定メニュー	102
カメラの基本機能を変える.....	102
音を鳴らさない.....	102
音量を変える.....	102
機能の説明を表示しない.....	103
日付/時刻を変える.....	103
世界時計を使う.....	103
レンズ収納時間を変える.....	104
エコモードを使う.....	104
節電機能 (オートパワーオフ) の設定を変える.....	104
画面の明るさを変える.....	105
起動画面を表示しない.....	105
カードを初期化する.....	105
カードを物理フォーマット (初期化) する.....	106
画像番号のつけかたを変える.....	106
フォルダを撮影日ごとに作る.....	107
距離表示の単位を変える.....	107
認証マークを確認する.....	107
表示言語を変える.....	107
その他の基本機能を変える.....	108
カメラの設定を初期状態に戻す.....	108
アクセサリ	109
システムマップ.....	109
別売アクセサリ.....	110
電源.....	110
その他.....	111
プリンター.....	111
別売アクセサリの使いかた.....	111
テレビで見る.....	111
HD (ハイビジョン) 対応テレビで見る.....	111
HD (ハイビジョン) 非対応テレビで見る.....	112

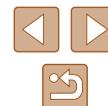
お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/プラス ムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
再生モード
Wi-Fi機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



印刷する.....	113
かんたん印刷.....	113
印刷設定をする.....	114
画像を切り抜いて印刷する（トリミング）.....	114
用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する.....	115
レイアウトで設定できる項目.....	115
証明写真を印刷する.....	115
動画を印刷する.....	116
動画の印刷方法.....	116
印刷指定（DPOF）.....	116
印刷内容を指定する.....	116
1枚ずつ枚数を指定する.....	117
範囲で指定する.....	117
すべての画像を指定する.....	117
すべての指定を解除する.....	118
印刷指定（DPOF）した画像を印刷する.....	118
フォトブック指定.....	118
指定方法を選ぶ.....	118
1枚ずつ指定する.....	118
すべての画像を指定する.....	119
すべての指定を解除する.....	119
付録.....	120
パソコンに画像を取り込む.....	120
カードリーダーを使う.....	120
カメラとパソコンを USB ケーブルで接続する.....	120
故障かな？と思ったら.....	121
画面に表示されるメッセージ一覧.....	124
画面の表示内容一覧.....	127
撮影時（情報表示あり）.....	127
バッテリーの残量表示.....	127
再生時（詳細情報表示）.....	128
動画操作パネル一覧.....	128

機能／メニュー一覧.....	129
撮影機能一覧.....	129
FUNC. メニュー一覧.....	130
撮影タブメニュー一覧.....	132
設定タブメニュー一覧.....	134
再生タブメニュー一覧.....	134
印刷タブメニュー一覧.....	135
再生モードの FUNC. メニュー一覧.....	135
日ごとの取り扱いについて.....	135
主な仕様.....	136
カメラ.....	136
撮影できる枚数・時間、再生できる時間.....	137
撮影距離.....	137
1枚のカードに撮影できる枚数.....	138
1枚のカードに撮影できる時間.....	138
バッテリーパック NB-11LH.....	138
バッテリーチャージャー CB-2LF.....	138
索引.....	139
Wi-Fi（無線 LAN）について.....	141
電波干渉について.....	141
セキュリティーについて.....	141
商標、ライセンスについて.....	142
このガイドについて.....	143

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/プラス ムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
再生モード
Wi-Fi機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



やりたいこと目次

撮る

- カメラまかせで写真を撮りたい（オートモード、プラスムービーオートモード）
 - 27、29
- カメラまかせで多彩な写真を撮りたい（クリエイティブショット）
 - 43

人を上手に撮りたい



人をきれいに
(45)

いろいろなシーンにあわせて撮りたい



暗い場所で
(45)



花火
(45)

効果をつけて撮りたい



鮮烈な色で
(46)



イラスト風に
(46)



魚眼レンズのように
(46)



ミニチュア模型のように
(47)



玩具カメラ風に
(48)



モノクロで
(48)

- 人の顔を上手に撮りたい
 - 27、45、58
- ストロボ禁止の場所で撮りたい（ストロボ発光禁止）
 - 36、62
- 自分も一緒に写りたい（セルフタイマー撮影）
 - 35、50
- 画像に日付を写し込みたい
 - 36
- 写真と一緒に動画を記録したい
 - 29

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



▶ 見る

- 画像を見たい
 - 63
- 自動再生で見たい（スライドショー）
 - 69
- テレビで見たい
 - 111
- パソコンで見たい
 - 120
- 画像を素早く探したい
 - 66
- 画像を消したい
 - 73
- 自動でアルバムを作りたい
 - 83

📹 動画を撮る／見る

- 動画を撮りたい
 - 27
- 動画を見たい
 - 63

🖨️ 印刷する

- 写真を印刷したい
 - 113

📄 残す

- 画像をパソコンに取り込みたい
 - 120

📶 Wi-Fi 機能を使う

- スマートフォンに画像を送りたい
 - 87
- Web サービスで画像を共有したい
 - 93

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

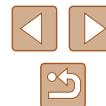
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



安全上のご注意

- 安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
- お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。



警告

死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

- 乳幼児の手の届くところに置かない。
- バッテリーを子供の手の届く範囲内に置かない。
ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。
カメラ、アクセサリーの部品や付属品を飲み込むと危険です。飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
電池を飲み込むと危険です。飲み込んだときは、すぐ医師に相談してください。
- この製品はボタン／コイン電池を使用しています。
ボタン／コイン電池は危険であり、新品が使用済みかにかかわらず、常に子供の手の届かないところに保管してください。
これらの電池を飲み込んだり、体のどこかに入れたりすると、2 時間以内に重傷や死亡に至ることがあります。
ボタン／コイン電池を飲み込んだ、または体のどこかに入れた疑いがある場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 指定外の電源は使わない。
- 分解や改造をしない。
- 強い衝撃や振動を与えない。
- 破損したときは、内部に触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。

- 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。
- 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。
感電、破裂、火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。
感電の原因となります。
- バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。
 - 指定外の製品で使わない。
 - 熱したり、火中投入しない。
 - 指定外の製品で充電しない。
 - 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
 - 液漏れしたものは使わない。
 - 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。感電、破裂、火災の原因となります。
液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。
- バッテリーチャージャーや AC アダプターを使うときは、次のことに注意する。
 - 電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
 - ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
 - 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
 - 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
 - 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーや AC アダプターに触れない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
- コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
- 電源に長時間つないだままにしない。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリー

付録

索引



● 5℃～ 40℃の範囲外で充電しない。
感電、破裂、火災の原因となります。

● 長時間、身体と同じ部位に触れさせたまに使わない。
熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱いなどが使うときは、三脚などを使ってください。

● 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となる恐れがあります。

● ペットの近くにバッテリーを置かない。
バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により故障や火災の原因となることがあります。



注意

下記の注意を守らないと、けがを負う可能性または物的損害の発生が想定されます。

● ストロボを目に近付けて発光しない。
目をいためる恐れがあります。

● 長い時間、ファインダー（ファインダーがある製品）や画面を見続けない。
乗り物酔いのような症状をおこすことがあります。すぐに製品の使用を中止して休息をとってください。

● ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。
やけどや故障の原因となります。

● 製品を高温や低温となる場所に放置しない。
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

● ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。

● レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。
けがやカメラの故障の原因となります。

● 三脚を使うときは、十分に強度があるものを使う。

● カメラを三脚につけたまま移動しない。
けがや事故の原因となります。

● 製品の内部には手を入れない。
けがの原因となります。

● 使用中や使用後に肌に異常を感じた場合は、使用を中止し医師にご相談ください。

● ズボンのポケットにカメラを入れたまま椅子などに座らない。
画面の破損の原因となります。

● かばんにカメラを入れるときは、硬いものが画面にあたらないようにする。また、画面が閉じられる製品では、画面を内側に向けて閉じる。

● ストラップにアクセサリを付けない。
硬いものが画面にあたると破損の原因になります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



基本編

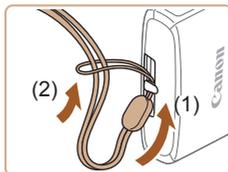
カメラの基本操作

準備から、撮影、再生までの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

準備する

ここでは、撮影前の準備について説明します。

ストラップを取り付ける



- (1) ストラップの先端を取り付け部に通して、(2) 通した先端にストラップを通します。

カメラを構える



- ストラップを手首に通します。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボに指がかからないようにしてください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

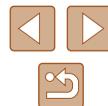
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



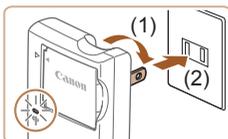
バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていませんので、必ず充電してからお使いください。



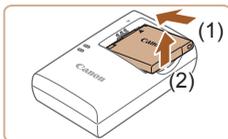
1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り付けます。



2 充電する

- プラグを(1)の方向へおこして、(2)コンセントに差し込みます。
- 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



3 バッテリーを取り外す

- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、(1)の方向へ押しながら、(2)の方向へ取り外します。



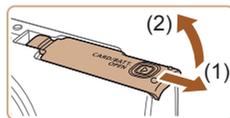
- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24時間以上連続して充電しないでください。



- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」(P137)を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

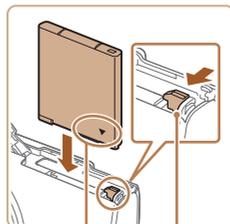
バッテリーとカードを入れる

付属のバッテリーとカード（市販品）をカメラに入れます。なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）(P105)することをおすすめします。



1 ふたを開ける

- (1)の方向にふたを動かして、(2)の方向へふたを開けます。



2 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部(1)を図の向きにして、バッテリーロック(2)を矢印の方向へ動かし、「カチッ」と音がしてロックされるまで差し込みます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

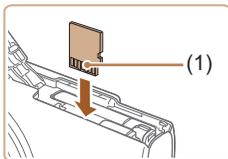
設定メニュー

アクセサリ

付録

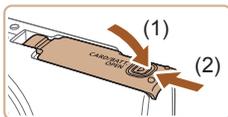
索引





3 カードを入れる

- カードの端子部(1)を図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。



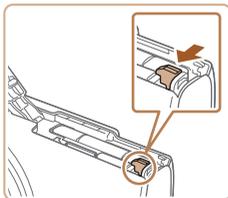
4 ふたを閉める

- ふたを(1)の方向にたおして押さえたまま、(2)の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



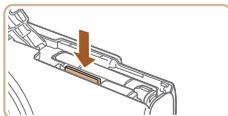
- 1枚のカードに撮影できる枚数や時間については、「1枚のカードに撮影できる枚数」(P138)を参照してください。

■ バッテリーとカードを取り出す



バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- バッテリーが出てきます。



カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を放します。
- カードが出てきます。

日付／時刻を設定する

電源を入れたときに【日付／時刻】画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。

なお、撮影した日時を画像に写し込むこともできます (P36)。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 【日付／時刻】画面が表示されます。



2 日付／時刻を設定する

- [◀] か [▶] を押して項目を選びます。
- [▲] か [▼] を押して設定します。
- すべての項目を設定したら、[MENU] を押します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3 自宅のエリアを設定する

- [◀] か [▶] を押して自宅のあるエリアを選びます。

4 設定を終える

- [OK] を押すと設定されて、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。



- 日付/時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに [日付/時刻] 画面が表示されます。正しく設定してください。



- 手順2で [設定] を選び、[▲] か [▼] を押して [設定] にすると、サマータイム (1 時間プラスされます) に設定されます。

■ 日付/時刻を変える

日付/時刻を、現在の設定から変えられます。



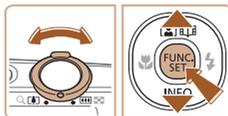
1 メニューを表示する

- [MENU] ボタンを押します。



2 [日付/時刻] を選ぶ

- ズームレバーを動かして、[↑] タブを選びます。
- [▲] か [▼] を押して [日付/時刻] を選び、[OK] を押します。



3 日付/時刻を変える

- 「日付/時刻を設定する」の手順2 (書 16) の操作で設定します。
- [MENU] ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- カメラには日付/時刻用電池 (バックアップ電池) が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約3週間は、設定した日付/時刻が保持されます。
- 日付/時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れるとカメラの電源を入れなくても約4時間で充電されます。
- 日付/時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに [日付/時刻] 画面が表示されます。「日付/時刻を設定する」(書 16) の操作で正しく設定してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

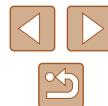
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



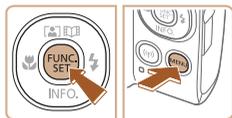
表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。



2 設定画面を表示する

- [FUNC/SET] を押したまま、すぐに [MENU] ボタンを押します。



3 言語を設定する

- [◀] か [▶] を押して言語を選び、[FUNC/SET] を押します。
- 表示言語が設定され、設定画面が消えます。



- 手順2の操作で [FUNC/SET] を押してから、[MENU] ボタンを押すまでの間隔が長いと、時計表示になります。時計表示になったときは [FUNC/SET] を押して時計表示を消して、もう一度手順2の操作を行います。
- 言語設定は、[MENU] ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[言語] タブの [言語] を選んで設定することもできます。

使ってみる

▶ 静止画 ▶ 動画

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

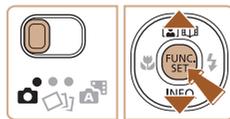
撮る（こだわりオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



2 [AUTO] モードにする

- モードスイッチを [CAMERA] にします。
- [FUNC/SET] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [AUTO] を選び、もう一度 [FUNC/SET] を押します。
- [▲] か [▼] を押して [AUTO] を選び、[FUNC/SET] を押します。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- 画面の右上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3 撮りたいものの大きさを決める

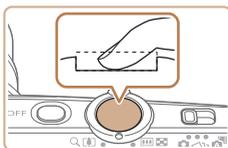
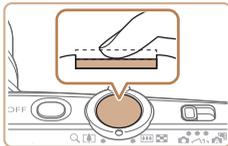
- ズームレバーを [[山]] 側に押すと撮りたいものが大きくなり、[[建物]] 側に押すと小さくなります。

4 撮影する

静止画を撮る

1) ピントを合わせる

- シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されます。



2) 撮影する

- シャッターボタンを深く押し込みます。
- シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでは自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。



動画を撮る

1) 撮影をはじめめる

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影がはじまり、[●録画]と撮影時間(1)が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。



2) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- [◀] を押すと前の画像が表示され、[▶] を押すと次の画像が表示されます。



- [◀] か [▶] を 1 秒以上押すとこの画面が表示されます (スクロール再生)。この状態で [◀] か [▶] を押して画像を選びます。
- [⏪] を押すと 1 枚表示に戻ります。



- 動画では、[SET▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。



3 動画を再生する

- [⏪] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [▶] を選び、もう一度 [⏪] を押します。
- 動画が再生され、再生が終わると [SET▶] が表示されます。
- 音量は、再生中に [▲] か [▼] を押して調節します。



- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

1 消したい画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して画像を選びます。

2 消す

- [⏪] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [▶] を選び、もう一度 [⏪] を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押して [消去] を選び、[⏪] を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[◀]か[▶]を押して[キャンセル]を選び、[⏪]を押します。



- 画像をまとめて消すこともできます (P.74)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

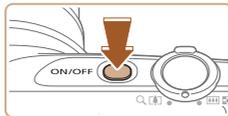
索引



カメラを知る

カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生の他、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



再生モード

- [▶] ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- [▶] ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



- 撮影モードの状態ですべてのボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードの状態ですべてのボタンを押すと、撮影モードになります。
- 再生モードでは、約1分経過するとレンズが収納されます。レンズが収納されているときは、[▶] ボタンを押すと電源が切れます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

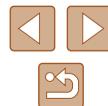
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



節電機能（オートパワーオフ）

バッテリーの消費を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。

■ 撮影モードでの節電機能

約1分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約2分たつとレンズが収納されて電源が切れます。画面が消えた状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押し（[図22](#)）すると画面が表示され、撮影できます。

■ 再生モードでの節電機能

約5分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

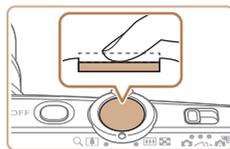


- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます（[図104](#)）。
- Wi-Fiでほかの機器と接続しているとき（[図86](#)）は、節電機能は働きません。

シャッターボタンの押しかた

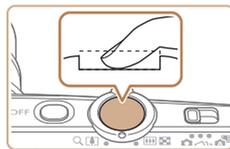
ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押し「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押し「全押し」をして撮影します。

なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押しします。



2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。



- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



撮影時の画面表示の切り換えかた

画面表示は、[▼] を押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「画面の表示内容一覧」(P127) を参照してください。

	情報表示あり
	情報表示なし



- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります(ナイトビュー機能)。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややごちゃごちゃい表示になることがあります(記録される画像に影響はありません)。
- 再生時の画面表示については、「表示を切り換える」(P64) を参照してください。

FUNC. (ファンクション) の表示と操作方法

よく使う機能は、FUNC. で設定できます。

なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード(P130) や再生モード(P135) によって変わります。



1 FUNC. のメニュー項目を表示する

- [FUNC.] を押します。



(1) (2)

2 メニュー項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押してメニュー項目(1)を選び、[FUNC.] か [▶] を押します。
- メニュー項目の右側に項目(2)が表示されます。
- メニュー項目によっては、[FUNC.] や [▶] を押すだけで設定される機能や画面が切り換わる機能もあります。



3 項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して項目を選びます。
- [MENU] が表示される項目では、[MENU] ボタンを押して設定することができます。
- メニュー項目に戻るときは、[◀] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

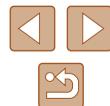
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





4 設定を終える

- [FUNC.] を押します。
- 手順 1 で [MENU] を押す前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (P108)。

MENU (メニュー) の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。メニュー項目はタブで撮影 [CAM] や再生 [REPLAY] などの系統に分けられています。なお、表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード (P132 ~ P135) によって変わります。



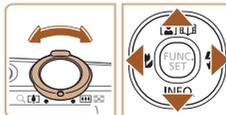
1 メニューを表示する

- [MENU] ボタンを押します。



2 タブを選ぶ

- ズームレバーを動かして、タブを選びます。
- [▲] か [▼] を押してタブが選ばれている状態にしたあと、[◀] か [▶] を押してタブを選ぶこともできます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

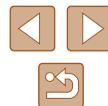
Wi-Fi機能

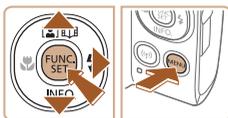
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





3 項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して項目を選びます。
- 内容が表示されていない項目では、[⊕] か [▶] を押して画面を切り換えたあと、さらに [▲] か [▼] を押して項目を選びます。
- [MENU] ボタンを押すと切り換える前の画面に戻ります。

4 内容を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して内容を選びます。

5 設定を終える

- [MENU] ボタンを押すと、手順1で [MENU] ボタンを押す前の画面に戻ります。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (108)。

文字の入力方法

Wi-Fi 機能 (87) で文字を入力するときはキーボード画面を使います。入力できる文字数や文字の種類は、機能によって異なります。



文字を入力する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して文字を選び、[⊕] を押して入力します。

入力位置を移動する

- [◀] か [▶] を選んで [⊕] を押します。

文字を消す

- [←] を選んで [⊕] を押すと、前の1文字が消去されます。

文字を確定してもとの画面に戻る

- [MENU] ボタンを押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

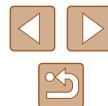
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ランプの表示

カメラが以下の状態のとき、カメラ背面のランプ (図4) が緑色に点滅します。

- パソコン接続時
- 画面消灯時 (ディスプレイオフ) (図22、 図104)
- 起動中、カードへの記録 / 読み出し中
- 各種通信中
- 長秒時の撮影中 (図51)
- Wi-Fi 接続中 / データ送受信時



- ランプ (背面) が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード / バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことはしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になることがあります。

時計機能

現在の時刻を確認できます。



- [FUNC.] を押したまま電源を入れることで、時刻表示にすることもできます。

- [FUNC.] を押したままにします。
- 現在の時刻が表示されます。
- 時刻表示中にカメラを縦にすると縦表示になり、[◀] か [▶] を押すと表示色を変えることができます。
- もう一度 [FUNC.] を押すと時刻表示が消えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



オートモード/ プラスムービーオートモード

かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

カメラまかせで撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

オートモードで撮る（こだわりオート）

▶ 静止画 ▶ 動画



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



2 [AUTO] モードにする

- モードスイッチを [CAMERA] にします。
- [FUNC/SET] を押したあと、[▲] か [▼] を押して [AUTO] を選び、もう一度 [FUNC/SET] を押します。
- [▲] か [▼] を押して [AUTO] を選び、[FUNC/SET] を押します。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- 画面の右上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます（P31、P32）。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

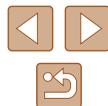
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





(1)



3 撮りたいものの大きさを決める

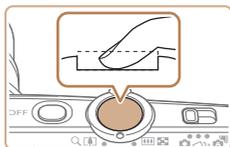
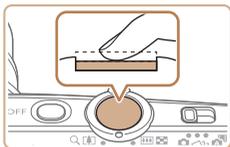
- ズームレバーを [[▲]] 側に押しと撮りたいものが大きくなり、[[■]] 側に押しと小さくなります(ズームの位置を示すズームバー(1)が表示されます)。
- ズームレバーを [[▲]] 側、または [[■]] 側へいっぱいまで押ししたときは速く、少し押ししたときはゆっくりと、大きさが変わります。

4 撮影する

静止画を撮る

1) ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されます。
- 複数のAFフレームが表示されたときは、表示されたすべての枠にピントが合っています。



2) 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- シャッター音が鳴り、撮影されます(暗いところでは自動的にストロボが光ります)。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。



(1)



動画を撮る

1) 撮影をはじめると

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影がはじまり、[●録画]と撮影時間(1)が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





2) 撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは手順3と同じ操作で変えます。ただし、操作音は録音されます。また、倍率が青く表示されたときは画像が粗くなります。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。



3) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ビビッ」と2回鳴り、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

プラスムービーオートモードで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

静止画を撮影するだけで、静止画が記録されると同時に撮影直前の約2～4秒のシーンも動画として記録され、1日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。



1 [MODE] モードにする

- モードスイッチを [MODE] にします。



2 構図を決める

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順3～4（[27](#)）の操作で構図を決めてピントを合わせます。
- 静止画を撮影する約4秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。

3 撮影する

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順4（[27](#)）の操作で静止画を撮影します。
- 静止画と動画が記録されます。動画の1シーンの最後に撮影した静止画がシャッター音と一緒に動画の一部としても記録され、1つのチャプターになります。



- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、[AUTO] モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れたり [MODE] モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラを操作したときの音が録音されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

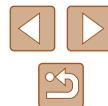
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- ダイジェスト動画の画質は、[HD] に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音は鳴りません。
- 次のときは、同じ日に [M] モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 29 分 59 秒になったとき
 - ダイジェスト動画を保護したとき (P.71)
 - サマータイムの設定 (P.16) やエリア設定 (P.103) を変えたとき
 - フォルダが新しく作成されたとき (P.107)
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。
- 事前に設定すると、静止画なしのダイジェスト動画にすることもできます。MENU (P.24) で [カメラ] タブの [ダイジェスト形式] を選び、[静止画なし] を選んでください (P.24)。
- チャプターを使って編集することもできます (P.82)。

ダイジェスト動画の再生について

[M] モードで撮影した静止画を表示して同じ日に作成されたダイジェスト動画を再生したり、日付を選んで再生することができます (P.65)。

静止画／動画



- [V] を押ししたまま電源を入れると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、[MENU] ボタンを押して、[設定] タブの [消音] を選び、[] か [] を押して [しない] を選びます。

静止画



- [Q] が点滅表示したときは手ブレしやすいので、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「カメラ」(P.136) を参照してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と1回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲 (撮影範囲) は、「撮影距離」(P.137) を参照してください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ (前面) が点灯することがあります。
- 撮影しようとしたときに [] が点滅表示したときは、ストロボ充電のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを放してもう一度押してください。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。



- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます (P.42)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



動画



- 動画撮影するときは、マイクをふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。



- 動画撮影中に動画ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。
- 大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさを撮影したいときは、手ブレ補正の設定を変えてください(40)。



- 音声はモノラルで録音されます。

シーンのアイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

[] [AUTO] モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。

背景	被写体：人			背景色
	人	動いているとき ^{*1}	顔の一部が暗いとき ^{*1}	
明るい				灰色
明るい (逆光)			—	
青空を含む				水色
青空を含む (逆光)			—	
スポットライト				紺色
暗い				
暗い (三脚を使用しているとき)	*2	—	—	

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



背景	被写体：人以外			背景色
	人以外	動いているとき*1	近いとき	
明るい				灰色
明るい（逆光）				
青空を含む				水色
青空を含む（逆光）				
夕景			—	オレンジ色
スポットライト				紺色
暗い				
暗い（三脚を使用しているとき）	*2	—	—	

*1 動画撮影では表示されません。

*2 撮影シーンが暗いときに、三脚などでカメラを固定すると表示されます。



- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、[P] モード (p.52) で撮影することをおすすめします。

手ブレ補正アイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）されます。また、[P] [AUTO] モードでは以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正（通常）
	静止画を流し撮りで撮るときのブレを補正（流し撮り）*
	マクロ撮影するときの角度ブレとシフトブレを補正（ハイブリッド IS） 動画では が表示され、さらに も加えた手ブレを補正
	動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正（ダイナミック）
	動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正（パワード）
	三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正を停止。ただし、動画撮影中は が表示され、風などによる振動の影響を低減するブレ補正を実施（三脚 IS）

* 動く被写体をカメラで追いつながら撮影（流し撮り）するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。



- [手ブレ補正] を [切] に設定 (p.40) すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。
- [P] モードでは にはなりません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



画面に表示される枠

▶ 静止画 ▶ 動画

〔AUTO〕モードでは、カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。
ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。
- シャッターボタンを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。



- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、〔P〕モード（P 52）で撮影することをおすすめします。

よく使う機能や便利な機能を使う

被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

▶ 静止画 ▶ 動画

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 48 倍まで拡大できます。



1 ズームレバーを〔Z〕側に押す

- ズームできるところまでレバーを押したままにします。
- 画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。

2 もう一度〔Z〕側に押す

- (1) は現在の倍率です。
- さらにズームして、被写体が拡大されます。



- ズームレバーを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されて、バーの色はズーム領域によって変わります。
 - 白の領域：画像が粗くならない光学ズーム領域
 - 黄色の領域：画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域（プログレッシブファインズーム）
 - 青色の領域：画像が粗くなるデジタルズーム領域
- 設定した記録画素数（P 38）によっては青色の領域がないため、手順 1 の操作で最大倍率までズームできます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- デジタルズームを使わないようにするには、MENU (📖24) で [📷] タブの [デジタルズーム] を選び、[切] を選びます。

被写体の動きに応じて自動でズームさせる (オートズーム)

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが人の顔を検出 (📖27) すると、顔が一定の大きさに保たれるよう自動でズームします。人がカメラに近づくとき自動でズーム倍率が下がり、人がカメラから離れるとき自動でズーム倍率が上がります。



1 オートズームモードにする

- [▲] を押します。
- [👤] が表示されます。
- 顔が検出されると白い枠が表示され、被写体となる人が画面の中におさまるように、自動でズームします。
- 複数の顔が検出されているときは、主被写体の顔には白い枠、その他の顔には灰色の枠が最大2つまで表示され、複数の人が画面の中におさまるように、自動でズームします。



2 撮影する

- 撮影後も枠が表示され、自動でズームします。
- もう一度 [▲] を押すと、[👤] が表示され、解除されます。



- 顔が横や斜めを向いているときやズーム倍率によっては、顔を検出できないことがあります。
- 次のときは、オートズームが解除されます。
 - 撮影モードを変えたとき
 - [MENU] ボタン、動画ボタン、[🔍] を押したとき
 - [▶] を押したとき



- 検出された人が、画面の端に動いて画面から消えそうになると、自動でズーム倍率が下がってフレームアウトすることを防ぎます。
- セルフタイマー (📖35) でシャッターボタンを全押ししたあとは、ズーム倍率は変わりません。
- 被写体の動きや撮影状況によっては、被写体が画面におさまることを優先するため、顔の大きさを一定に保てないことがあります。
- 顔が検出できないときは、所定のズーム位置までズームしたあと、顔が検出されるまでズームを停止します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

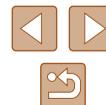
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



セルフタイマーを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。



1 設定する

- [MENU] を押して、メニュー項目の [FUNC. SET] を選んだあと、項目の [INFO.] を選びます (P23)。
- 設定されると [INFO.] が表示されます。

2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときは、動画ボタンを押します。
- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- 撮影の 2 秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [INFO.] を選びます。



セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

シャッターボタンを押してから約 2 秒後に撮影するため、シャッターボタンを押すときのカメラの手ブレを防ぐことができます。



- 「セルフタイマーを使う」の手順 1 (P35) の操作で [INFO.] を選びます。
- 設定されると [INFO.] が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順 2 (P35) の操作で撮影します。

セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

撮影されるまでのタイマー時間 (0 - 30 秒) と、撮影枚数 (1 - 10 枚) を設定できます。

1 [INFO.] を選ぶ

- 「セルフタイマーを使う」の手順 1 (P35) の操作で [INFO.] を選び、[MENU] ボタンを押します。

2 設定する

- [▲] か [▼] を押して時間または枚数を選びます。
- [◀] か [▶] を押して数値を選び、[INFO.] を押します。
- 設定されると [INFO.] が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順 2 (P35) の操作で撮影します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 動画ボタンを押して撮影したときは、設定した時間で撮影がはじまりますが、枚数は反映されません。



- 撮影枚数を2枚以上にしたときは、明るさや色あいは1枚目の撮影で固定されます。また、ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなり、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を2秒以上にしたときは、撮影の2秒前にランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。

ストロボを光らせない

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボを光らせないで撮影することができます。



- [F] が表示されるまで [▶] を何度か押します。
- ストロボが光らなくなります。
- もう一度 [▶] を押すと、[f] が表示されて、暗いシーンでは、ストロボが自動的に光ります。



- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、画面に [f] が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。

日付を写し込む

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の右下に撮影したときの日付を写し込むことができます。なお、写し込まれた日付を消したり、修正することはできませんので、あらかじめ日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください (P16)。



1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[CAMERA] タブの [日付写し込み] を選び、目的の項目を選びます (P24)。
- 設定されると [f] が表示されます。



2 撮影する

- 撮影した画像の右下に、撮影日または撮影日時が写し込まれます。
- 戻すときは、手順1の操作で [切] を選びます。



- 写し込まれた日付を消したり、修正することはできません。



- 日付を写し込まなかった画像でも、次の方法で画像に撮影日を入れて印刷することができます。ただし、日付を写し込んだ画像を同じ方法で印刷すると、日付が二重に印刷されることがあります。
 - プリンターの機能を使って印刷する (P113)
 - 印刷指定 (DPOF) 機能を使って印刷する (P116)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



連続して撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

[AUTO] モードでは、シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。

連続撮影の速度は「カメラ」(P136)を参照してください。



1 設定する

- [MENU] を押して、メニュー項目の [] を選んだあと、項目の [] を選びます (P23)。
- 設定されると [] が表示されます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- 連続撮影中はシャッターボタンを半押ししたときのピント位置、露出、色あいで固定されます。
- セルフタイマー (P35) とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。

自分好みの画像を撮るための機能を使う

縦横比 (アスペクト比) を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の縦横の比率を変えられます。



- [MENU] を押して、メニュー項目の [4:3] を選んだあと、目的の項目を選びます (P23)。
- 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で [4:3] を選びます。

16:9	HD (ハイビジョン) 対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	このカメラの画面と同じ縦横比です。HD (ハイビジョン) 非対応テレビなどの画面へ表示するときや、L 判、A 判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。



- [] モードでは設定できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



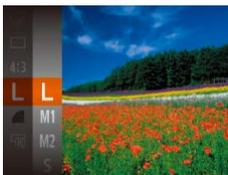
記録画素数（画像の大きさ）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の記録画素数を4種類から選べます。それぞれの記録画素数で1枚のカードに撮影できる枚数については「1枚のカードに撮影できる枚数」(📖138)を参照してください。



- [📷] を押して、メニュー項目の [L] を選び、目的の項目を選びます (📖23)。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [L] を選びます。



用紙の大きさで選ぶときの目安（縦横比 4:3 のとき）

L	A2 相当
M1	A3 ~ A5 相当
M2	2L 判、はがき、L 判相当
S	電子メールで画像を送るときなど



- [📷] モードでは設定できません。

動画の画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

3種類の画質から選べます。それぞれの画質で1枚のカードに撮影できる時間については「1枚のカードに撮影できる時間」(📖138)を参照してください。



- [📷] を押して、メニュー項目の [FHD] を選んだあと、目的の項目を選びます (📖23)。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [FHD] を選びます。



画質	記録画素数	フレーム数	内容
FHD	1920 x 1080 画素	30 フレーム / 秒	Full HD (フルハイビジョン) 画質で撮影できます。
HD	1280 x 720 画素	30 フレーム / 秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
VGA	640 x 480 画素	30 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。



- [FHD] [HD] では、画面の上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

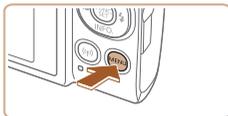


撮影の手助けとなる機能を使う

グリッドラインを表示する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影のときに垂直、水平の目安になる格子線を画面上に表示することができます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [グリッドライン] を選び、[入] を選びます (📖24)。
- 設定されると格子線が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [切] を選びます。



- 「グリッドライン」は画像に記録されません。

ピント位置を拡大表示する

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししたときに、AF フレーム (ピント合わせの枠) の位置を拡大表示してピントを確認することができます。



1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [ピント位置拡大] を選び、[入] を選びます (📖24)。



2 ピントを確認する

- シャッターボタンを半押しすると、主被写体として検出された顔が、拡大表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [切] を選びます。



- 次のときはシャッターボタンを半押ししても拡大表示されません。
 - 顔が検出できないとき、顔がカメラに近すぎて画面に対して大きく表示されているとき、顔が動いていると判別されたとき
 - デジタルズーム (📖33) をしているとき
 - キャッチ AF (📖59) をしているとき
 - テレビに表示しているとき (📖111)
- [📺] モードでは設定できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



手ブレ補正の設定を変える

■ 手ブレ補正を使わないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラを三脚などで固定して撮影するときは、手ブレ補正機能が動作しないよう [切] にすることをおすすめします。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [手ブレ補正設定] を選び、[🔍] を押します (📖24)。



2 設定する

- [▲] か [▼] を押して [手ブレ補正] を選び、[◀] か [▶] を押して [切] を選びます。

入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定 (マルチシーン IS) されます (📖32)。
切	手ブレ補正を切ります。

■ 撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影する

▶ 静止画 ▶ 動画

動画撮影では大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。

手ブレ補正の効果を弱めることで、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。



- 「手ブレ補正を使わないようにする」(📖40) の操作で [手ブレ補正設定] 画面を表示します。
- [ダイナミック IS] を選んでから、[2] を選びます (📖24)。



- [手ブレ補正] が [切] のときも、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。
- [手ブレ補正] を [切] にしているとき (📖40) は [ダイナミック IS] は選ばれません。
- [EVGA] のときは、[ダイナミック IS] は [1] に固定されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

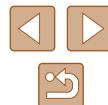
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



自分好みに機能を変える

MENUの【📷】タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU（メニュー）の表示と操作方法」（📖24）を参照してください。

AF補助光（ランプ）を切る

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、【📷】タブの[AF補助光]を選び、[切]を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で[入]を選びます。

赤目緩和機能（ランプ）を切る

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

1 [ストロボ設定] 画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、【📷】タブの[ストロボ設定]を選び、【📷】を押します。

2 設定する

- [赤目緩和ランプ]の[切]を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で[入]を選びます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

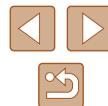
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



撮影直後の画面表示を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影直後に画像が表示される時間を変えたり、画面の表示を変えることができます。

■ 撮影直後の画像表示時間を変える

1 【撮影直後のレビュー表示】画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの【撮影直後のレビュー表示】を選び、[⏻] を押します。



2 設定する

- [表示時間] を選んでから、設定したい項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [クイック] を選びます。

クイック	次の撮影ができるようになるまでの間だけ画像を表示します。
2秒、4秒、8秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

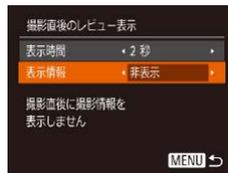
■ 撮影直後に表示される画面を変える

撮影直後の画像表示を変えることができます。

1 【表示時間】を [2秒]、[4秒]、[8秒] または【ホールド】にする (📖42)

2 設定する

- [表示情報] を選んでから、設定したい項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [非表示] を選びます。



非表示	撮影した画像だけを表示します。
詳細表示	詳細情報表示 (📖128) になります。



- [表示時間] (📖42) で [クイック] または [切] を選んでいるときは、[非表示] に固定されます。
- 撮影直後に画像が表示されているときに [▼] を押すと、表示情報を切り換えられます。ただし、[表示情報] で設定した内容は変わりません。また、[⏻] を押すと以下の操作を行います。
 - 保護 (📖71)
 - お気に入り (📖77)
 - 消去 (📖73)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る



多彩な写真を撮る (クリエイティブショット)

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが被写体や撮影状況を判別して、自動で効果をつけたり被写体を切り出して、1回の撮影で6枚の静止画を記録します。カメラまかせで多彩な静止画を撮ることができます。



1 [C] モードにする

- モードスイッチを [C] にします。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、シャッター音が3回鳴って撮影されます。
- 6枚の画像が順番に表示されたあと、すべての画像が約2秒間表示されます。
- 画像の表示中に [OK] を押しと、シャッターボタンを半押しするまで画像が表示されるようになります。この状態で [▲] [▼] [◀] [▶] を押して画像を選び [OK] を押しと、選んだ画像が画面いっぱいに表示されます。
- [MENU] ボタンを押すともとの表示に戻ります。



- ストロボが発光するときは撮影に時間がかかりますが、3回シャッター音が鳴るまでカメラを構え続けてください。
- 撮影した6枚の画像はグループ化 (G) されます。
- 6枚の画像が手順2のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



再生したときの表示について

1回の撮影で撮れた6枚の画像が1つのグループにまとめられ（グループ化）、連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます。また、この画像にはグループ化されていることを示す【SET】が画面左上に表示されます。



- グループ化された画像を消す（[73](#)）と、グループ内のすべての画像が消されますので十分注意してください。



- グループ化された画像を1枚ずつ見たり（[68](#)）、グループ化を解除できます（[68](#)）。
- グループ化された画像を保護（[71](#)）すると、グループ内のすべての画像が保護されます。
- 画像の検索（[66](#)）や連想再生（[70](#)）で、グループ化された画像を表示すると、グループ化が一時的に解除されて1枚ずつの表示になります。
- グループ化された画像は、拡大（[69](#)）、お気に入り設定（[77](#)）、編集（[78](#)）、印刷（[113](#)）、1枚ずつの印刷指定（[117](#)）、フォトブック指定（[118](#)）はできません。グループ化された画像を1枚表示（[68](#)）にするか、グループ化を解除（[68](#)）してから行ってください。
- 手順2のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。

効果を選ぶ

▶ 静止画 ▶ 動画

【】モードで記録する画像の効果を選ぶことができます。



- 【】モードを選んだあと、【▼】を押します。
- 【◀】か【▶】を押して効果を選び【】を押します。

 オート	すべての効果
 レトロ	古い写真のような雰囲気の効果
 モノクロ	単色の効果
 スペシャル	特殊で大胆な効果
 ナチュラル	自然な印象の抑えめな効果

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。



1 [カメラ] モードにする

- モードスイッチを [カメラ] にします。

2 撮影モードを選ぶ

- [MENU] を押してメニュー項目の [AUTO] を選び、撮影モードを選びます (P23)。

3 撮影する

👤 人を撮る (ポートレート)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 人をやわらかい感じで撮影できます。

📷 三脚を使わずに夜景を撮る (手持ち夜景)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 三脚などでカメラを固定しなくても夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。
- 連続撮影した画像を1枚に合成することで、手ブレやノイズが軽減されます。



🌙 暗い場所で撮る (ローライト)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 暗い場所でも手ブレや被写体ブレをおさえて撮影できます。



🎆 花火を撮る (打上げ花火)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 打上げ花火を色鮮やかに撮影できます。



- [🌙] モードでは、他のモードに比べて被写体が大きく表示されません。
- [🌙] モードでは、撮影シーンによっては ISO 感度 (P54) が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- [🌙] モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- [🌙] モードでは、ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- [🎆] モードでは手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (P40)。



- 三脚を使って夜景を撮影するときは、[🌙] モードではなく、[AUTO] モードで撮影することをおすすめします (P27)。
- [📷] モードでは、記録画素数は [M] (2592 x 1944 画素) に固定されます。
- [🎆] モードでは、最適なピント位置に設定されますが、シャッターボタンを半押ししても枠は表示されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



効果をつけて撮る

いろいろな効果をつけて撮影することができます。



1 撮影モードを選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (P45) の操作で撮影モードを選びます。

2 撮影する

🌈 鮮烈な色で撮る (極彩色)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 色の濃さを強調して、高彩度の鮮烈な色で撮影できます。



🎨 イラスト風の効果をつけて撮る (オールドポスター)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 古いポスターのようなイラスト風の効果をつけて撮影できます。



- 「🌈」 「🎨」 モードでは、撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

魚眼レンズのような効果をつけて撮る (魚眼風)

▶ 静止画 ▶ 動画

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

1 [🌀] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (P45) の操作で [🌀] を選びます。

2 効果を選ぶ

- [▼] を押したあと、[◀] か [▶] を押して効果のレベルを選び、[🌀] を押します。
- 設定した効果で画面が表示されます。



3 撮影する



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 [鳥] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (📖45) の操作で [鳥] を選びます。
- 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。



2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- [▼] を押します。
- ズームレバーを動かして枠の大きさを変えたり、[▲] か [▼] を押して枠の位置を変えます。



3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- [MENU] ボタンを押したあと、[◀] か [▶] を押して倍速（速さ）を選びます。

4 撮影画面に戻り、撮影する

- [MENU] ボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

■ 倍速と再生時間の目安（動画を 1 分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒

30 フレーム / 秒で再生



- 動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 手順 2 の画面で [◀] か [▶] を押すと枠が縦になります。[▲] か [▼] を押すと枠が横に戻ります。
- 枠が横のときは [▲] か [▼]、枠が縦のときは [◀] か [▶] を押して、枠の位置を変えます。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質は、縦横比で [4:3] を選んだときは [EVGA] に、[16:9] を選んだときは [HD] に固定されます (📖37)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 [📷] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (📖45) の操作で [📷] を選びます。



2 色調を選ぶ

- [▼] を押したあと、[◀] か [▶] を押して色調を選び、[📷] を押します。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。



- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

単色で撮る（モノクロ）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。

1 [📷] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (📖45) の操作で [📷] を選びます。



2 色調を選ぶ

- [▼] を押したあと、[◀] か [▶] を押して色調を選び、[📷] を押します。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



特殊なモードでいろいろな画像を撮る

顔を見つけて撮る（オートシャッター）

▶ 静止画 ▶ 動画

■ 笑顔を見つけて撮る（スマイル）

シャッターボタンを押さなくても、カメラが笑顔を検出するたびに、自動で撮影します。



1 [😊] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2 (P.45) の操作で [😊] を選んだあと、[▼] を押します。
- [◀] か [▶] を押して [😊] を選び、[OK] を押します。
- 撮影準備に入り、[笑顔を検出中です] が表示されます。

2 カメラを人に向ける

- カメラが笑顔を検出するたびに、ランプ（前面）が光ったあと撮影されます。
- [◀] を押すと笑顔の検出を中断できます。もう一度 [◀] を押すと笑顔の検出を再開します。



- 笑顔を検出するたびに撮影し続けるので、撮影が終わったら、他の撮影モードに変えることをおすすめします。



- シャッターボタンを押して撮影することもできます。
- カメラの方を向いて、歯が見えるように口を開けて笑うと、笑顔が検出されやすくなります。
- 手順1で [😊] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すと、撮影枚数を変えることができます。

■ ウィンクしたら撮る（ウィンクセルフタイマー）

カメラを人に向けてシャッターボタンを押したあと、カメラがウィンクを検出すると、約2秒後に撮影されます。



1 [👁] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2 (P.45) の操作で [👁] を選んだあと、[▼] を押します。
- [◀] か [▶] を押して [👁] を選び、[OK] を押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ウィンクする人の顔に緑色の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押しする

- 撮影準備に入り、[ウィンクすると撮影します] が表示されます。
- ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





4 カメラに向かってウインクする

- 枠が表示された人のウインクが検出されると、約2秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。



- ウインクが検出されないときは、少し長めに、しっかりとウインクしてください。
- 帽子や髪で目が隠れていたり、眼鏡をかけていたりすると、ウインクが検出されないことがあります。
- 両目をつむってもウインクとして検出されます。
- ウインクが検出されないときは、約15秒後に撮影されます。
- 手順1で [] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すと、撮影枚数を変えることができます。
- 人がいない構図でシャッターボタンを全押ししたときは、あとから構図に入った人のウインクで撮影がはじまります。

■ 人が増えたら撮る (顔セルフタイマー)

シャッターボタンを押した人が構図に入って顔が検出 (58) されると、約2秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写りたいときにおすすめです。



1 [] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2 (45) の操作で [] を選んだあと、[▼] を押します。
- [◀] か [▶] を押して [] を選び、[] を押します。



2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ピントが合った顔には緑色、それ以外の顔には白の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押しする

- 撮影準備に入り [顔が増えたら撮影します] が表示されます。
- ランプ (前面) が点滅し、電子音が鳴ります。

4 一緒に写る人が構図に入り顔をカメラに向ける

- 新しい顔が検出されると、ランプの点滅 (ストロボ発光時は点灯) と電子音が速くなり、約2秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。



- 一緒に写る人が構図に入っても顔を検出できないときは、約15秒後に撮影されます。
- 手順1で [] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すと撮影枚数を変えることができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



長秒時露光で撮る（長秒時撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピードを1～15秒の範囲に設定して、長秒時露光撮影ができます。なお、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定して撮影します。



1 [⌘] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2 (📖45) の操作で [⌘] を選びます。



2 シャッタースピードを選ぶ

- [⌘] を押して、メニュー項目の [1"] を選んだあと、シャッタースピードを選びます (📖23)。

3 露出を確認する

- シャッターボタンを半押しすると、選んだシャッタースピードの露出で画面が表示されます。

4 撮影する



- 手順3でシャッターボタンを半押ししたときの画面の明るさは、撮影される画像と異なることがあります。
- シャッタースピードが1.3秒以上のときは、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖40)。



- ストロボが発光すると、白トビした画像になることがあります。そのときは、ストロボを [🚫] にして撮影します (📖61)。

高速で連続して撮る（ハイスピード連写）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを全押ししている間、高速で連続撮影ができます。連続撮影の速度は「カメラ」(📖136) を参照してください。



1 [📷] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2 (📖45) の操作で [📷] を選びます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- 記録画素数は [M] (2592 x 1944 画素) に固定されます。
- ピント、明るさ、色あいは、1枚目の撮影で固定されます。
- 撮影シーンやカメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなる場合があります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなる場合があります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



Pモード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る



- モードスイッチが [CAMERA] で、[P] モードになっていることを前提に説明しています。
- [P] は、Program AE (プログラムエーイー) の略、AE は、Auto Exposure (オートエクスポージャー) の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を [P] モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください (P129)。

プログラム AE で撮る ([P] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 [P] モードにする

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ~ 2 (P45) の操作で [P] を選びます。

2 目的に応じて各機能を設定 (P53 ~ P62) し、撮影する



- シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。ISO 感度を変えたり (P54)、被写体が暗いときにストロボを発光させる (P61) と、適正露出が得られることがあります。
- [P] モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、FUNC. (P23) や MENU (P24) の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



明るさ（露出）に関する機能を使う

明るさを変える（露出補正）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で補正できます。



- [⊕] を押して、メニュー項目の [±0] を選んだあと、[▲] か [▼] を押して画面の表示を見ながら明るさを補正します (P23)。
- 動画では、露出補正バーが表示された状態で撮影します。
- 静止画では、[⊕] を押して設定した補正量が表示された状態で撮影します。

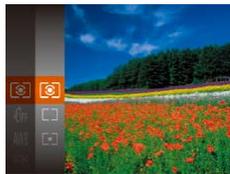


- 静止画では、露出補正バーが表示された状態でも撮影できます。
- 動画撮影中は [AEL] が表示され、露出は固定されます。

測光方式を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。



- [⊕] を押して、メニュー項目の [[☉]] を選び、目的の項目を選びます (P23)。
- 設定した項目が表示されます。

評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
スポット測光	画面中央に表示される [[]] (スポット測光枠) の範囲のみを測光します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

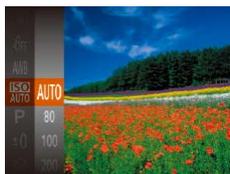
索引



ISO 感度を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ISO 感度が [AUTO] のときは撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定されます。また、設定する ISO 感度の数値が大きいほど感度が高くなり、小さいほど感度が低くなります。



- [MENU] を押して、メニュー項目の [ISO] を選び、目的の項目を選びます (P23)。
- 設定した項目が表示されます。



- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると自動設定された ISO 感度が画面に表示されます。
- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボ撮影できる距離が長くなりますが、画像が粗くなります。

明るさを補正して撮る (i-コントラスト)

▶ 静止画 ▶ 動画

人の顔や背景など、一部が明るすぎたり暗すぎたりするときは、その部分を検出し、適切な明るさに自動補正して撮影することができます。また、画面全体で明暗差が小さいときは、くっきりした印象となるように自動補正して撮影することができます。



- [MENU] ボタンを押して、[カメラ] タブの [i-コントラスト] を選び、[オート] を選びます (P24)。
- 設定されると [i] が表示されます。



- 撮影シーンによっては画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。



- 撮影した画像を補正することもできます (P80)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

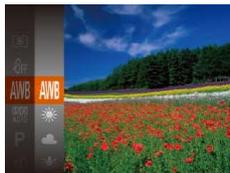


色に関する機能を使う

色あいを調整する（ホワイトバランス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



- [WB] を押して、メニュー項目の [AWB] を選び、目的の項目を選びます (P.23)。
- 設定した項目が表示されます。

AWB	オート	撮影シーンに応じて自動設定
☀	太陽光	晴天の屋外
☁	くもり	曇り空や薄暮
💡	電球	電球
💡	蛍光灯	白色蛍光灯
💡	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯
📷	マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）(P.55)

マニュアルホワイトバランス

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。



- 「色あいを調整する（ホワイトバランス）」(P.55) の操作で [MENU] を選びます。
- 画面いっぱいに白い無地の被写体が入るようにして、[MENU] ボタンを押します。
- 白データが取り込まれて設定されると、画面の色あいが変わります。



- 白データを取り込んだあとにカメラの設定を変えると、適切な色あいにならないことがあります。

画像の色調を変える（マイカラー）

▶ 静止画 ▶ 動画

通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。



- [MC] を押して、メニュー項目の [MC] を選び、目的の項目を選びます (P.23)。
- 設定した項目が表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



☞ff	マイカラー切	—
△v	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりとした印象の色調になります。
△N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さをおさえ、すっきりとした印象の色調になります。
△se	セピア	セピア調になります。
△W	白黒	白黒になります。
△p	ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」、「あざやかグリーン」、「あざやかレッド」の効果をあわせたもので、ポジフィルムのように自然で色鮮やかになります。
△L	色白肌	人の肌が色白になります。
△D	褐色肌	人の肌が褐色になります。
△B	あざやかブルー	青色を強調します。空や海などがより鮮やかになります。
△G	あざやかグリーン	緑色を強調します。山や草花などがより鮮やかになります。
△R	あざやかレッド	赤色を強調します。赤い被写体がより鮮やかになります。
△c	カスタムカラー	画像の色調を自分好みに設定できます(☞56)。



- [△se] [△W] では、ホワイトバランス (☞55) は設定できません。
- [△L] [△D] では、人の肌の色以外が変わることがあります。また、肌の色によっては、思いどおりの色にならないことがあります。

■ カスタムカラー

画像のコントラスト（明暗差）、シャープネス（鮮鋭度）、色の濃さ、赤、緑、青、肌色を、それぞれ5段階から選んで設定できます。



1 設定画面を表示する

- 「画像の色調を変える（マイカラー）」(☞55) の操作で [△c] を選び、[MENU] ボタンを押します。

2 設定する

- [▲] か [▼] を押して項目を選び、[◀] か [▶] を押して値を設定します。
- 設定値が右側に行くほど強く／濃く／褐色（肌色）になり、左に行くほど弱く／薄く／色白（肌色）になります。
- [MENU] ボタンを押すと設定されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う

近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

[🌻] に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。ピントが合う範囲は「撮影距離」（📖137）を参照してください。



- [◀] を押したあと、[▶] か [▶] を押して [🌻] を選び、[📷] を押します。
- 設定されると [🌻] が表示されます。



- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。
- ズームバーの下にある黄色のバー表示の範囲は、[🌻] が灰色表示になりピントが合いません。



- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、[📷] で撮影することをおすすめします（📖35）。

遠くの被写体を撮る（遠景撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

[▲▲] に設定すると、遠いものだけにピントを合わせます。ピントが合う範囲は「撮影距離」（📖137）を参照してください。



- [◀] を押したあと、[▶] か [▶] を押して [▲▲] を選び、[📷] を押します。
- 設定されると [▲▲] が表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

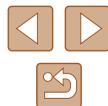
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



デジタルテレコンバーターを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

レンズの焦点距離を 1.6 倍 / 2.0 倍にできます。ズーム操作（デジタルズーム含む）で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [デジタルズーム] を選んだあと、目的の項目を選びます (📖24)。
- 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。



- デジタルズーム (📖33)、ピント位置の拡大表示 (📖39) とは、一緒に使えません。



- ズームレバーを [📷] 側に押しきってもっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、「被写体をもっと拡大する (デジタルズーム)」の手順 2 (📖33) の操作で被写体を同じような大きさに拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。

AF フレームモードを変える

撮影シーンにあわせて、AF (自動ピント合わせ) フレームモードを変えられます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [AF フレーム] を選び、目的の項目を選びます (📖24)。

■ 顔優先 AiAF

▶ 静止画 ▶ 動画

- 人の顔を検出して、ピント、露出 (評価測光時のみ)、色あい (📷時のみ) を合わせます。
- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレーム、他の顔には最大 2 つの灰色のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った顔には緑色のフレーム (最大 9 個) が表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 顔が検出されないときや、白のフレームが表示されず灰色のフレームのみが表示されたときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレーム（最大9個）が表示されます。
- サーボ AF (📖60) が [入] で顔が検出されないときに、シャッターボタンを半押しすると中央にフレームが表示されます。
- 顔として検出できない例
 - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
 - 被写体が暗い、または明るい。
 - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AF フレームは表示されません。

■ ピントを合わせたい被写体を選んで撮る (キャッチ AF)

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントを合わせたい被写体を選んで、撮影できます。

1 [キャッチ AF] を選ぶ

- 「AF フレームモードを変える」(📖58) の操作で [キャッチ AF] を選びます。
- 画面中央に [☑] が表示されます。



2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

- 被写体に [☑] が重なるようにカメラを動かして [◀] を押します。

- 被写体を検出されると電子音が鳴り、[📷] が表示されます(動いていても一定の範囲で追いつけます)。
- 被写体を検出できなくなったときは、[☑] が表示されます。
- 解除するときは、もう一度 [◀] を押します。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、[📷] が青色の [□] に変わり、被写体を追い続けながら、ピントと露出を合わせ続けます (サーボ AF) (📖60)。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。
- 撮影後も [📷] が表示され、被写体を追いつけます。



- [サーボ AF] (📖60) は [入] に固定されます。
- 被写体が小さすぎる、動きが速い、被写体と背景との明暗差や色の差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- メニューの [📷] タブの [ピント位置拡大] は設定できません。
- [📷] [▲] は設定できません。



- [◀] を押さずにシャッターボタンを半押ししても被写体を検出できます。撮影後は、画面中央に [☑] が表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



中央

▶ 静止画 ▶ 動画

AF フレームが中央 1 点になります。確実なピント合わせに有効です。



- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、黄色の AF フレームと [!] が表示されます。



- AF フレームを小さくしたいときは、[MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [AF フレームサイズ] で [小] を選びます (24)。
- デジタルズーム (33) やデジタルテレコンバーター (58) 使用時は、[標準] に設定されます。
- 被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームをあわせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します (フォーカスロック撮影)。
- [ピント位置拡大] (39) を [入] にしているときは、シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、AF フレームの位置が拡大して表示されます。

サーボ AF で撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを見逃さずに撮影できます。



1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [サーボ AF] を選び、[入] を選びます (24)。

2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。



- 撮影シーンによっては、ピントが合わなくなることがあります。
- 暗い場所では、シャッターボタンを半押ししても AF フレームが青色にならないことがあります。そのときは、設定している AF フレームモードでピントと露出を合わせます。
- 適正露出が得られなくなると、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。いったんシャッターボタンから指を放して、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- MENU (24) の [📷] タブの [ピント位置拡大] は設定できません。
- セルフタイマー (35) 使用時は設定できません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



フォーカス設定を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせますが、シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせるようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [連続AF] を選び、[切] を選びます (📖24)。

入	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
切	通常はピント合わせを行わないため、消費電力をおさえることができます。

ストロボに関する機能を使う

ストロボモードを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。ストロボ撮影できる範囲は、「カメラ」(📖136)を参照してください。



設定する

- [▶] を押したあと、[◀] か [▶] を押してストロボモードを選び、[📷] を押しします。
- 設定した項目が表示されます。

■ オート

暗いところでは自動的にストロボが光ります。

■ 常時発光

ストロボを常に発光させて撮影できます。

■ スローシンクロ

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッター速度を遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。



- [📷] では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときには、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖40)。
- [📷] では、ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ 発光禁止

ストロボを光らせないで撮影することができます。



- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、画面に [] が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。

撮影スタイルにあわせて機能を変える

圧縮率（画質）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

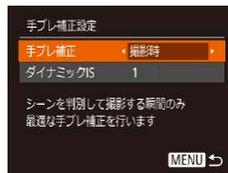
圧縮率を2種類から選べます。高画質から順に []（スーパーファイン）、 []（ファイン）となります。それぞれの圧縮率で1枚のカードに撮影できる枚数については「1枚のカードに撮影できる枚数」（[138](#)）を参照してください。



- [] を押して、メニュー項目の [] を選び、目的の項目を選びます（[23](#)）。

手ブレ補正の設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「手ブレ補正を使わないようにする」の手順1～2（[40](#)）の操作で [撮影時] を選びます。



- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、 [切] にすることをおすすめします。
- 動画を撮影するときは、 [入] の設定に変わります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



再生モード

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- [▶] ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。



- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

見る

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を画面で見ることができます。



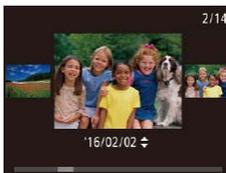
1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- [◀] を押すと前の画像が表示され、[▶] を押すと次の画像が表示されます。



- [◀] か [▶] を 1 秒以上押すとこの画面が表示されます (スクロール再生)。この状態で [◀] か [▶] を押して画像を選びます。
- [⏪] を押すと 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に [▲] か [▼] を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 動画では、[SET▶]が表示されます。動画を再生するときは手順3に進みます。



3 動画を再生する

- [⏻]を押したあと、[▲]か[▼]を押して[▶]を選び、もう一度[⏻]を押すと再生がはじまります。



(1)

4 音量を調整する

- [▲]か[▼]を押して調節します。
- 音量バー(1)が消えても、[▲]か[▼]を押して調節することができます。

5 一時停止する

- [⏻]を押すたびに、一時停止/再開できます。
- 再生が終わると[SET▶]が表示されます。



- 再生モードの状態ではシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- スクロール再生を使わないようにするには、MENU (📖24)で[▶]タブの[スクロール再生]を選び、[切]を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたいときは、MENU (📖24)で[▶]タブの[再生開始位置]を選び、[最新の画像]を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、MENU (📖24)で[▶]タブの[再生効果]を選び、目的の効果を選びます。

表示を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

画面表示は、[▼]を押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「再生時(詳細情報表示)」(📖128)を参照してください。

	情報表示なし
	簡易情報表示
	詳細情報表示

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

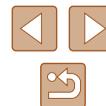
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

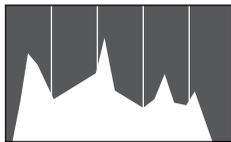
索引



■ 高輝度（ハイライト）警告

「詳細情報表示」(📖64) にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

■ ヒストグラム



- 「詳細情報表示」(📖64) のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。

■ GPS 情報表示



- カメラとスマートフォンを Wi-Fi でつなぐと、スマートフォンを操作してカメラ内の画像に GPS 情報（緯度、経度、標高など）を記録することができます(📖98)。「GPS 情報表示」は、この記録した情報を確認できます。
- 表示内容は上から順に緯度、経度、標高、[UTC]（撮影日時）です。



- GPS 情報が記録されていない画像では、「GPS 情報表示」は表示できません。
- お使いのスマートフォンにない項目や正しく記録できなかった項目の数値には「--」が表示されます。



- [UTC] は Coordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。

静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[📷] モード (📖29) で静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画を見ることができます。



1 画像を選ぶ

- [📷] モードで撮影した静止画には [SET] 📷 が表示されます。



2 ダイジェスト動画を再生する

- [📷] を押して、メニュー項目の [📷] を選びます (📖23)。
- 静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画が先頭から再生されます。



- 情報表示なし (📖64) にしているときは、一定時間で [SET] 📷 が消えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ 日付ごとに選んで見る

ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [ダイジェスト動画の一覧/再生] を選び、目的の日付を選びます (P.24)。

2 再生する

- [▶] を押すと、動画が再生されます。

画像を探したり、特定の画像だけを見る

一覧表示 (インデックス表示) で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

- ズームレバーを [] 側に押すと一覧表示になり、さらに押すと表示される画像の数が増えます。
- ズームレバーを [Q] 側に押すごとに、表示される画像の数が減ります。



2 画像を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して画像を選びます。
- 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- [] を押すと選ばれている画像が 1 枚表示になります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

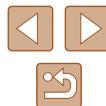
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



指定した条件で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり (P.71)、消したり (P.73) することもできます。

人物	顔が検出された画像を表示
日付	指定した撮影日の画像を表示
★ お気に入り	お気に入り設定した画像 (P.77) を表示
静止画/動画	静止画、動画、[P.29] モード (P.29) で作成された動画のいずれかを表示

1 検索条件を選ぶ

- [P.23] を押して、メニュー項目の [P.23] を選び、条件を選びます (P.23)。
- [P.23] [P.23] を選んだときは、表示された画面で [P.23] [P.23] [P.23] [P.23] を押して条件を選び、[P.23] を押します。

2 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠つきで表示され、[P.23] か [P.23] を押すと検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、手順 1 の操作で [P.23] を選びます。



- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。



- 手順 2 で [P.23] を押すと、情報の非表示/表示を切り換えられます。
- 検索した画像を表示しているとき (手順 2) は、「一覧表示 (インデックス表示) で画像を探す」 (P.66)、「拡大して見る」 (P.69)、「スライドショーで見る」 (P.69) などの操作で画像を見ることがもできます。また、「保護する」 (P.71)、「まとめて消す」 (P.74)、「印刷指定 (DPOF)」 (P.116)、「フォトブック指定」 (P.118) で [検索したすべての画像を指定] を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- 画像を編集して新規保存 (P.78 ~ P.82) などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



グループ化された画像を1枚ずつ見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[V] [G] モード (P43, P51) で撮影された画像はグループ化されて表示されますが、グループ内の画像を1枚ずつ見ることもできます。



1 グループ化された画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して [SET] が表示された画像を選びます。



2 [G] を選ぶ

- [MENU] を押して、メニュー項目の [G] を選びます (P23)。



3 グループ内の画像を1枚ずつ見る

- [◀] か [▶] を押すとグループ内の画像のみが表示されます。
- [MENU] を押して、メニュー項目の [G] を選び、もう一度 [MENU] を押すとグループ再生が解除されます (P23)。



- グループ再生の状態(手順3)で [MENU] を押すと表示されるメニューの機能を使ったり、「一覧表示 (インデックス表示) で画像を探す」 (P66)、「拡大して見る」 (P69) こともできます。また、「保護する」 (P71)、「まとめて消す」 (P74)、「印刷指定 (DPOF)」 (P116)、「フォトブック指定」 (P118) で「グループ内の全画像」を指定すると、グループ内のすべての画像をまとめて操作することができます。
- グループ化を解除して、1枚ずつの画像として表示したいときは、MENU (P24) で [G] タブの [グループ表示] を選び、[切] を選びます (P24)。ただし、グループ化された画像を1枚ずつ見ているときは、グループ化を解除できません。
- [V] モードで「多彩な写真を撮る (クリエイティブショット)」の手順2 (P43) のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

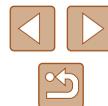
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



いろいろな方法で画像を見る

拡大して見る

▶ 静止画 ▶ 動画



1 拡大する

- ズームレバーを [Q] 側に押すと拡大表示になり、[SET] が表示されて、押したままにすると最大約 10 倍まで拡大できます。
- 画面には表示位置の目安 (1) が表示されます。
- ズームレバーを [] 側に押すと縮小表示になり、押したままにすると 1 枚表示に戻ります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すと、表示位置が移動します。
- [SET] が表示されている状態で [] を押すと [SET] 表示に切り換わり、[◀] か [▶] を押すと拡大したまま画像を切り換えられます。もう一度 [] を押すとともに戻ります。



- 拡大表示のときに [MENU] ボタンを押すと、1 枚表示に戻すことができます。

スライドショーで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

カードに記録されている画像を自動的に再生します。画像 1 枚あたりの表示時間は約 3 秒です。



- [] を押して、メニュー項目の [] を選び、目的の項目を選びます (23)。
- [画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- [MENU] ボタンを押すと終わります。



- スライドショー中に節電機能 (22) は動きません。



- 再生中に [] を押すと一時停止 / 再開ができます。
- 再生中に [◀] か [▶] を押すと画像を切り換えられ、[◀] か [▶] を押したままにすると早送りできます。
- 検索 (67) しているときは、対象の画像のみが再生されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



設定を変える

スライドショーの繰り返しや再生画像 1 枚あたりの表示時間、切り換わるときの効果（再生効果）を変えられます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [スライドショー] を選びます (📖24)。

2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (📖24)。
- [スタート] を選んで [⏻] を押すと、設定した内容でスライドショーがはじまります。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- [効果] で [バブル] を選んだときは、[再生間隔] は変えられません。

いろいろな画像を表示する（連想再生）

▶ 静止画 ▶ 動画

表示している画像をもとに、4 つの画像をカメラが選んで表示します。その中から 1 つ選ぶとさらに 4 つの画像が表示されるので、思いがけない順番の再生が楽しめます。いろいろなシーンの画像をたくさん撮ったあとなどにおすすめです。



1 連想再生にする

- [⏻] を押して、メニュー項目の [🔍] を選びます (📖23)。
- 4 枚の画像が候補として表示されます。



2 画像を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して次に見たい画像を選びます。
- 選んだ画像が画面中央に表示され、次の 4 枚の候補が表示されます。
- [⏻] を押すと画面中央の画像が画面いっぱいに表示されます。もう一度 [⏻] を押すともとの表示に戻ります。
- [MENU] ボタンを押すと 1 枚表示に戻ります。



- 次のときは連想再生を使えません。
 - このカメラで撮影した静止画が 50 枚に満たないとき
 - 対象の画像以外を表示しているとき
 - 検索した画像を表示しているとき (📖67)
 - グループ再生しているとき (📖68)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



保護する

▶ 静止画 ▶ 動画

大切な画像をカメラの消去機能（[73](#)）で誤って消さないよう、保護することができます。



- **[MENU]** を押し、メニュー項目の **[鍵]** を選ぶ（[23](#)）と、**[保護しました]** が表示されます。
- 解除するときは、上記の操作でもう一度 **[鍵]** を選び、**[MENU]** を押します。

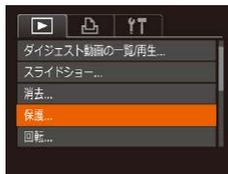


- カードを初期化（[105](#)）すると、保護された画像も消えます。



- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

メニューから操作する



1 設定画面を表示する

- **[MENU]** ボタンを押して、**[▶]** タブの **[保護]** を選びます（[24](#)）。

2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（[24](#)）。
- **[MENU]** ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

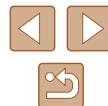
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリー

付録

索引



1 枚ずつ指定する

1 [画像指定] を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順2 (書71) の操作で [画像指定] を選び、 を押します。



2 画像を選び指定する

- [◀] か [▶] を押して画像を選び、 を押すと  が表示されます。
- もう一度  を押すと  が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。



3 保護する

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、 を押します。



- 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。

範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順2 (書71) の操作で [範囲で指定] を選び、 を押します。



2 始点の画像を指定する

-  を押します。



- [◀] か [▶] を押して画像を選び、 を押します。



3 終点の画像を指定する

- [▶] を押して [終点選択] にし、 を押します。



- [◀] か [▶] を押して画像を選び、 を押します。
- 始点より前の画像は選べません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

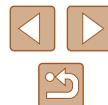
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





4 保護する

- [▼] を押して [保護] を選び、[⊕] を押します。



- 手順4で [解除] を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。

すべての画像を保護する

1 [すべての画像を保護] を選ぶ

- 「メニューから操作する」の手順2 (書71) の操作で [すべての画像を保護] を選び、[⊕] を押します。



2 保護する

- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[⊕] を押します。

すべての画像の保護を解除する

すべての画像の保護をまとめて解除することができます。解除するときは、「すべての画像を保護する」の手順1の操作で [すべての画像の保護を解除] を選び、手順2の操作を行います。

消す

▶ 静止画 ▶ 動画

不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻せないなので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像 (書71) は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して画像を選びます。

2 消す

- [⊕] を押して、メニュー項目の [🗑] を選びます (書23)。
- [消去しますか?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押して [消去] を選び、[⊕] を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[◀]か[▶]を押して[キャンセル]を選び、[⊕]を押します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

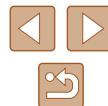
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

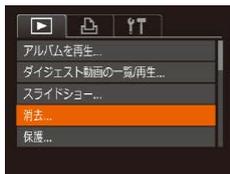
索引



まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像はもとに戻せないの十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(71)は消えません。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [消去] を選びます (24)。



2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (24)。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する



1 [画像指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2 (74) の操作で [画像指定] を選び、[MENU] を押します。

2 画像を選ぶ

- 「1 枚ずつ指定する」の手順 2 (72) の操作で画像を選ぶと、[✓] が表示されます。
- もう一度 [MENU] を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。



3 消す

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[MENU] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

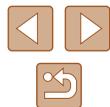
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ 範囲で指定する

1 「範囲で指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順2 (📖74) の操作で「範囲で指定」を選び、[OK] を押します。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順2～3 (📖72) の操作で指定します。

3 消す

- [▼] を押して「消去」を選び、[OK] を押します。



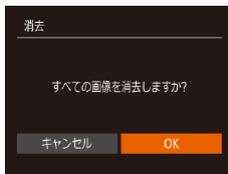
■ すべての画像を指定する

1 「すべての画像を指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順2 (📖74) の操作で「すべての画像を指定」を選び、[OK] を押します。

2 消す

- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[OK] を押します。



回転する

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の向きを変えて保存することができます。



1 [📷] を選ぶ

- [OK] を押して、メニュー項目の [📷] を選びます (📖23)。



2 回転する

- [◀] か [▶] を押すと指定した方向に90度単位で回転し、[OK] を押すと設定されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



メニューから操作する



1 [回転] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [回転] を選びます (📖24)。



2 回転する

- [◀] か [▶] を押して画像を選びます。
- [🔄] を押すたびに 90 度単位で回転します。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- [縦横自動回転] が [切] のときは回転できません (📖76)。

自動回転機能を切る

カメラの向きに応じて画像を自動回転する機能を使わないようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [縦横自動回転] を選び、項目の [切] を選びます (📖24)。



- [切] にすると、画像の回転 (📖75) はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。
- 連想再生 (📖70) では、[切] に設定しても、縦位置で撮影された画像は縦位置で、撮影後に回転させた画像は回転した状態で表示されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



お気に入り設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画

お気に入りを設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 「見る」(P63)、「スライドショーで見る」(P69)、「保護する」(P71)、「消す」(P73)、「印刷指定 (DPOF)」(P116)、「フォトブック指定」(P118)



- [F5] を押して、メニュー項目の [★] を選びます (P23)。
- [お気に入り指定しました] が表示されます。
- 解除するときは、上記の操作でもう一度 [★] を選び、[F5] を押します。

メニューから操作する



1 「お気に入り」を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [お気に入り] を選びます (P24)。



2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して画像を選び、[F5] を押すと [★] が表示されます。
- もう一度 [F5] を押すと [★] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。

3 設定する

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[F5] を押します。



- 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入りが設定されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

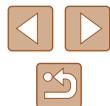
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



静止画を編集する

- 静止画の編集機能 (P.78～P.80) は、カードに空き容量がないと使えません。

画像を小さくする (リサイズ)

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。



1 [リサイズ] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [リサイズ] を選びます (P.24)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して画像を選び、[OK] を押します。



3 大きさを選ぶ

- [◀] か [▶] を押して大きさを選び、[OK] を押します。
- [新規保存しますか?] が表示されます。



4 新規保存する

- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[OK] を押します。
- 別画像として保存されます。



5 画像を確認する

- [MENU] ボタンを押すと [保存した画像を表示します] が表示されます。
- [◀] か [▶] を押して [はい] を選び、[OK] を押します。
- 保存した画像が表示されます。

- 記録画素数 (P.38) が [S] の画像は、編集できません。

- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。

画像を切り抜く (トリミング)

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。



1 [トリミング] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [トリミング] を選びます (P.24)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

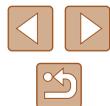
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して画像を選び、[⊕] を押します。



3 切り抜く範囲を調整する

- 画像を切り抜く範囲(1)が枠で表示されます。
- 左上にもと画像、右下に切り抜き後の画像(2)が表示されます。また、切り抜き後の記録画素数(3)も確認できます。
- ズームレバーを動かすと枠の大きさが変わられます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すと枠の位置が移動できます。
- [⊕] を押すと枠の縦横が変わられます。
- [MENU] ボタンを押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする(リサイズ)」の手順4~5(📖78)の操作を行います。



- 記録画素数が[S]の画像(📖38)や、リサイズした[S]の画像(📖78)は、編集できません。



- トリミングできる画像の縦横比率は編集前と同じです。
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。

画像の色調を変える(レタッチマイカラー)

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の色調を変え、別画像として保存できます。各項目の内容は「画像の色調を変える(マイカラー)」(📖55)を参照してください。



1 [レタッチマイカラー] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの[レタッチマイカラー]を選びます(📖24)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して画像を選び、[⊕] を押します。

3 項目を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して項目を選び、[⊕] を押します。



4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする(リサイズ)」の手順4~5(📖78)の操作を行います。



- 同じ画像に対して色調を繰り返し変えると、画質が徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。



- 撮影時のマイカラー(📖55)と色調が若干異なることがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



明るさを補正する (i-コントラスト)

▶ 静止画 ▶ 動画

人の顔や背景など、一部が暗く撮影された画像は、その部分を検出し、最適な明るさに自動補正します。また、画像全体で明暗差が小さい画像は、くっきりした印象となるように自動補正します。補正方法は4種類から選べ、別画像として保存できます。



1 [i-コントラスト] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [i-コントラスト] を選びます (📖24)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して画像を選び、[⊕] を押します。

3 項目を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して項目を選び、[⊕] を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする (リサイズ)」の手順 4 ~ 5 (📖78) の操作を行います。



- 画像によっては、画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。
- 同じ画像に対して補正を繰り返すと、画像が粗くなる場合があります。



- [オート] で思いどおりに補正されないときは、[弱] [中] [強] のいずれかを選んで補正します。

赤目を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [赤目補正] を選びます (📖24)。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して画像を選びます。

3 補正する

- [⊕] を押します。
- 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」(📖69) の操作で画像を拡大/縮小できます。

4 新規保存して画像を確認する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [新規保存] を選び、[⊕] を押します。
- 別画像として保存されます。
- 「画像を小さくする (リサイズ)」の手順 5 (📖78) の操作を行います。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順4で「上書き保存」を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。

動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した動画の前後を削除できます。



1 [X] を選ぶ

- 「見る」の手順1～5 (63) の操作で [X] を選び、[OK] を押します。
- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。



2 編集範囲を指定する

- (1) は動画編集パネル、(2) は動画編集バーです。
- [▲] か [▼] を押して [X] または [Y] を選びます。
- [◀] か [▶] を押して [X] を動かすと、編集できるところで [X] が表示されます。[X] を選ぶと [X] 位置より前部、[Y] を選ぶと後部が削除されます。
- [X] を [X] 以外の位置に指定しても、[X] では1つ左側の [X] 位置よりも前部、[Y] では1つ右側の [X] 位置よりも後部が削除されます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



3 編集した動画を確認する

- [▲] か [▼] を押して [▶] を選び、[⏮] を押すと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときは手順2の操作を行います。
- 編集を中止するときは、[▲] か [▼] を押して [⏮] を選び [⏮] を押したあと、[◀] か [▶] を押して [OK] を選び、もう一度 [⏮] を押します。



4 編集した動画を保存する

- [▲] か [▼] を押して [▶] を選び、[⏮] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [新規保存] を選び、[⏮] を押します。
- 別動画として保存されます。



- 手順4で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーを使うことをおすすめします。

ダイジェスト動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

[⏮] モードで作成されたチャプター (📖29) を1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターはもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。



1 チャプターを選ぶ

- 「静止画を撮影したときに作成された短編動画 (ダイジェスト動画) を見る」の手順1~2 (📖65) の操作で [⏮] モードで作成された動画を再生し、[⏮] を押して動画操作パネルを表示します。
- [◀] か [▶] を押して [◀] か [▶] を選び [⏮] を押します。

2 [⏮] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して [⏮] を選び、[⏮] を押します。
- 選んだチャプターが繰り返し再生されます。



3 確認して消す

- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[⏮] を押します。
- チャプターが消去され、上書き保存されます。



- プリンターとつないだときは、チャプターを選んでも [⏮] は表示されません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



アルバムを見る(ストーリーハイライト)

▶ 静止画 ▶ 動画

日付などの条件を選ぶとカメラが条件にあった画像を自動で抽出し、それらをスライドショーのようにつなぎあわせたアルバムにして、2～3分程度の短編動画として保存できます。

なお、バッテリーはフル充電してからお使いください。また、アルバムの作成にはカードの空き容量が必要となるため、目安として16GB以上のカードを使用し、1GB以上の空き容量を残してください。

■ アルバムを作成するときに選べる抽出条件

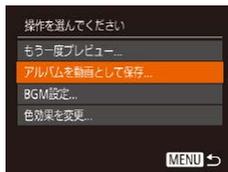
[▲] を押してホーム画面を表示すると、カメラに抽出させる画像の条件を選ぶことができます。なお、お気に入りに設定(📖77)した画像は、抽出されやすくなります。

日付	ある1日に撮った画像の中から抽出して、アルバムにします。ホーム画面を表示する前に選んだ1枚の静止画と同じ撮影日に撮った画像から抽出します。
イベント	旅行やパーティーのアルバムを作りたいときにおすすめです。ホーム画面を表示する前に選んだ1枚の静止画の撮影日前後のイベントに含まれる画像から抽出します。
カスタム	指定した画像や日付に関連する画像から抽出します。



1 画像を選ぶ

- 画像を選び、1枚表示にします。
- 画像の撮影日時によって、手順3で選べる抽出条件が変わります。



- アルバムの対象となるのはこのカメラで撮影した次の画像です。
 - 静止画
 - ダイジェスト動画(📖29)(圧縮した動画は除く)

2 ホーム画面を表示する

- [▲] を押します。
- [処理中] が表示されたあと、ホーム画面が表示されます。

3 プレビュー再生する

- [◀] か [▶] を押して [日付]、[イベント] から抽出条件を選び、[⊕] を押します。
- [読み込み中] が数秒間表示されたあと、アルバムがプレビュー再生されます。

4 アルバムを保存する

- [▲] か [▼] を押して [アルバムを動画として保存] を選び、[⊕] を押します。
- 保存が完了すると、[保存しました] が表示されます。

5 再生する(📖63)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- カード残量が足りないときは、アルバムを保存できません。
- 手順4の操作で「色効果を変更」を選んでから〔Ⓜ〕を押すと、色効果を選べます。〔◀〕か〔▶〕を押して色効果を選び〔Ⓜ〕を押したあと、手順4の画面で「もう一度プレビュー」を選ぶと、選んだ色効果でアルバムがプレビュー再生されます。
- 保存したアルバムは、ストーリーハイライトのホーム画面で「アルバム一覧」を選び、〔Ⓜ〕を押したあと、アルバム一覧画面からアルバムを選び、〔Ⓜ〕を押して再生することができます。

アルバムにBGMをつける

▶ 静止画 ▶ 動画

アルバムを再生したときに流れるBGMを、3種類から選ぶことができます。

1 アルバムを作成する

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（📖83）の手順1～3の操作でアルバムを作成します。

2 BGMを設定する

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（📖83）の手順4の画面で「BGM設定」を選びます。
- 「[▲]」か「[▼]」を押して目的の項目を選び〔Ⓜ〕を押したあと、「[▲]」か「[▼]」を押して内容を選びます（📖24）。

3 保存する

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（📖83）の手順4の操作で保存します。



- 一度保存したアルバムに、あとからBGMをつけることはできません。また、アルバムに登録したBGMは、消したり変更することはできません。
- BGMをつけたアルバムは、チャプター編集できません（📖82）。
- アルバムにBGMをつけると動画の音声は入りません。



- BGMをつけないときは、手順3の画面で「BGMの使用」を「[しない]」にしてください。
- 手順3の画面で「BGMの試聴」を選んで〔Ⓜ〕を押すと、「[選曲]」で選んだBGMを視聴することができます。

自分好みのアルバムを作る

▶ 静止画 ▶ 動画

自分で画像を選んでアルバムを作ることができます。

1 カスタムを選ぶ

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（📖83）の手順1～3の操作で「カスタム」を選び、〔Ⓜ〕を押します。

2 指定方法を選ぶ

- 「[画像指定]」または「[日付指定]」を選び、〔Ⓜ〕を押します。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

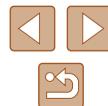
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

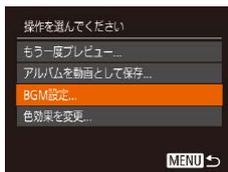
付録

索引



3 対象を指定する

- アルバムにしたい項目を選び [OK] を押し、選ばれた項目には [✓] が表示されます。
- [画像指定] で静止画、ダイジェスト動画、[日付指定] で日付を選んだあと、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押して [プレビュー] を選び、[OK] を押します。



4 BGM を選ぶ

- 左の画面が表示されたら [BGM 設定] を選び、「アルバムに BGM をつける」(84) の操作で BGM をつけたあと、[MENU] ボタンを押します。



5 色効果を選ぶ

- 「アルバムを見る (ストーリーハイライト)」(83) の手順 4 の画面で [色効果を変更] を選びます。
- [◀] か [▶] を押して色効果を選び、[OK] を押します。

6 保存する

- 「アルバムを見る (ストーリーハイライト)」(83) の手順 4 の操作で保存します。



- [画像指定] を選んだときは、最大 40 ファイルまで指定できます。なお、2 回目以降は [前回の内容をもとにして編集しますか?] が表示され、[はい] を選ぶと前回選んだ静止画に [✓] が入った状態でマルチ再生画面が表示されます。
- [日付指定] を選んだときは、最大 15 日間の日付を指定できます。
- 画像によっては、色効果がかからないことがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

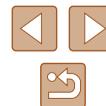
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



Wi-Fi 機能

カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Web サービスを利用する



- Wi-Fi 機能を使う前に「Wi-Fi（無線 LAN）について」(141)を必ずお読みください。

Wi-Fi でできること

このカメラは、以下の機器やサービスと Wi-Fi で接続して、画像の送受信やカメラの操作ができます。

- スマートフォン、タブレット端末
Wi-Fi 機能を持つスマートフォンやタブレット端末に画像を送信できます。また、スマートフォンやタブレット端末を使ってリモート撮影したり、カメラで撮影した画像に位置情報を記録することができます。なお、以降、スマートフォンとタブレット端末をあわせて「スマートフォン」と記載しています。
- Web サービス
キヤノンのオンラインフォトサービス image.canon に接続して、カメラから画像を送ることができます。
- 別のカメラ
キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラ同士で画像を送信できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



スマートフォンに画像を送る

カメラとスマートフォンを接続して画像を送るにはいくつかの方法があります。

- NFC 機能を使って接続する (📖87)
Android (OS バージョン 10.0 以上) で NFC に対応しているスマートフォンをタッチするだけでかんたんに接続できます。
- Camera Connect を使って接続する (📖90)
パソコンなどほかの接続先と同様の操作で接続できます。また、複数のスマートフォンを登録できます。

カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション「Camera Connect」(無料)をインストールする必要があります。アプリケーションの詳細(対応するスマートフォンや機能など)については、弊社 Web サイトで確認してください。

NFC 対応のスマートフォンに画像を送る

Android (OS バージョン 10.0 以上) で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を使って、Camera Connect のインストールやカメラへの接続をかんたんにすることができます。NFC 機能でスマートフォンと接続するときは、タッチする前のカメラの状態によって動作が異なります。

- 撮影モードまたは電源を切っているときにスマートフォンをタッチすると、画像を選択する画面で画像を選んで送信できます。また、接続後にリモート撮影したり、カメラで撮影した画像に位置情報を記録することもできます (📖98)。また、最近接続した接続先名として履歴が残るので、次回以降、Wi-Fi メニューからでもかんたんに接続できます。
- 再生モードでスマートフォンをタッチすると、一覧表示で送信する画像を選ぶ画面が表示されるので、画像を選んで送信できます。

ここでは、まず、撮影モードまたは電源を切っているときの接続について説明します。

■ 撮影モード／電源を切っているときの NFC 接続

1 Camera Connect をインストールする

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

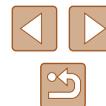
Wi-Fi機能

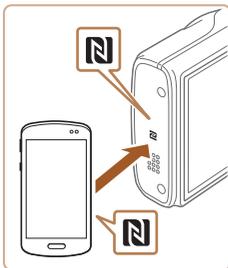
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





2 接続する

- カメラの電源が切れているか、撮影モードであることを確認します。
- Camera Connect がインストールされたスマートフォンとカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチします。
- カメラが自動で起動します。

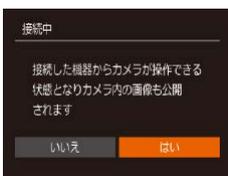


- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押して [OK] を選び [⊞] を押します。

- スマートフォンで Camera Connect が起動します。
- スマートフォンとカメラが自動で接続します。

3 公開設定する

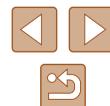
- この画面が表示されたときは、[◀] か [▶] を押して [はい] を選び、[⊞] を押します。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、GPS 情報の記録、リモート撮影ができるようになります。



4 画像を送る

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [選んで送信] を選び、[⊞] を押します。
- [▲] か [▼] を押して [画像指定] を選び [⊞] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して送信したい画像を選び、[⊞] を押して [✓] を表示させ、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[⊞] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [送信] を選び、[⊞] を押します。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押して [OK] を選び [⊞] を押します。また、スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/プラス ムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
再生モード
Wi-Fi機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引



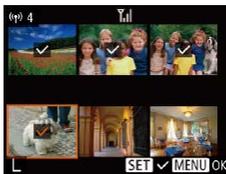


- NFC 機能をお使いになるときは、次のことに注意してください。
 - スマートフォンをカメラに強く当てないでください。スマートフォンやカメラに傷がつくことがあります。
 - スマートフォンによっては、認識されにくいことがあるので、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。接続できないときはカメラの画面が変わるまでタッチしたままにしてください。
 - 電源を切っているときに接続しようとする、カメラの電源を入れるよう、スマートフォンにメッセージが表示されることがあります。このときは、カメラの電源を入れてからタッチしないおしてください。
 - カメラとスマートフォンの間にものを置かないでください。また、カメラやスマートフォンにケースなどをつけていると、通信できないことがあります。
- 手順 3 で [はい] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンにカメラ内の画像を表示したくないときは、手順 3 の操作で [いいえ] を選んでください。
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (P.99)。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- 手順 2 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (P.88)。
- NFC に対応したスマートフォンでも N がないものがあります。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (P.96)。
- 手順 4 の画面で [この画像を送信] を選ぶと、表示している画像を送信できます。
- MENU (P.24) で [Wi-Fi] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選び、[NFC 接続] を [切] にすると NFC 接続しないようにできます。

再生モードでの NFC 接続



- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- Camera Connect がインストールされたスマートフォン (P.87) とカメラの N (N マーク) 同士をタッチします。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して送信したい画像を選び、[☑] を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度 [☑] を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[☑] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [送信] を選び、[☑] を押します。
- 画像が送信されます。



- 接続中、カメラの画面にニックネームの入力を促す画面が表示されたら「NFC 対応のスマートフォンに画像を送る」(P.87) の手順 2 の操作で入力してください。
- 再生モードのときに NFC 機能で接続したスマートフォンの履歴はカメラには残りません。
- 送信される画像のサイズをあらかじめ設定しておくことができます (P.96)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



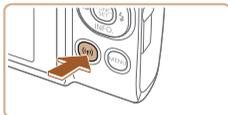
スマートフォンを登録する

ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます (p.92)。



1 Camera Connect をインストールする

- iPhone や iPad では、App Store から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。
- Android のスマートフォンでは、Google Play から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。



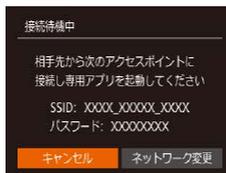
2 Wi-Fi メニューを表示する

- [Wi-Fi] ボタンを押します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[OK] を選びます。



3 [Wi-Fi] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [Wi-Fi] を選び、[OK] を押します。



4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して [接続先の機器の登録] を選び、[OK] を押します。

- 画面にカメラの SSID とパスワードが表示されます。

5 スマートフォンをネットワークに接続する

- スマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。
- パスワード欄にはカメラに表示されたパスワードを入力します。

6 Camera Connect を起動する

- スマートフォンを操作して Camera Connect を起動します。

7 接続するカメラを選ぶ

- スマートフォンで接続先のカメラを選ぶ画面が表示されたら、カメラを選んでペアリングを行います。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

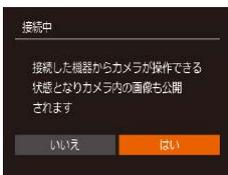
設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





8 公開設定する

- [◀] か [▶] を押して [はい] を選び、[OK] を押します。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、GPS 情報の記録、リモート撮影ができるようになります。



9 画像を送る

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [選んで送信] を選び、[OK] を押します。
- [▲] か [▼] を押して [画像指定] を選び [OK] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して送信したい画像を選び、[OK] を押して [✓] を表示させ、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[OK] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [送信] を選び、[OK] を押します。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押し表示される確認画面で [◀] か [▶] を押して [OK] を選び [OK] を押します。また、スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。
- 複数のスマートフォンを登録するときは、手順 1 から繰り返します。



- 手順 8 で [はい] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンにカメラ内の画像を表示したくないときは、手順 8 の操作で [いいえ] を選んでください。
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (P.99)。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [OK] を押すだけで簡単に接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (P.24) の [Wi-Fi] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- MENU (P.24) の [Wi-Fi] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[パスワード] を [切] にすると、SSID の表示画面 (手順 4) に [パスワード] が表示されなくなり、手順 5 でパスワードを入力しなくても接続できるようになります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (P.96)。
- 手順 9 の画面で [この画像を送信] を選ぶと、表示している画像を送信できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

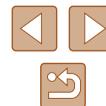
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

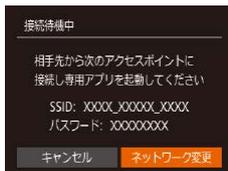
付録

索引



ほかのアクセスポイントを使う

Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンとカメラを接続するときは、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます。



1 接続待機の状態にする

- 「スマートフォンを登録する」(90)の手順 1～4 の操作で接続待機中の画面を表示します。

2 スマートフォンをアクセスポイントに接続する

3 [ネットワーク変更] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して [ネットワーク変更] を選び、[OK] を押します。
- 検索されたアクセスポイントの一覧が表示されます。

4 アクセスポイントに接続する



5 接続するカメラを選ぶ

- スマートフォンで接続先のカメラを選ぶ画面が表示されたら、カメラを選んでペアリングを行います。

6 公開設定して画像を送る

- 「スマートフォンを登録する」(90)の手順 8～9 の操作で公開設定して、画像を送ります。

接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、「スマートフォンを登録する」(90)の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- カメラをアクセスポイントにするときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選び、表示された画面で [カメラアクセスポイントモード] を選びます。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選んだあと、「ほかのアクセスポイントを使う」(92)の手順 4 から操作してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

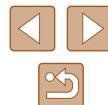
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



Web サービスを登録して画像を送る



- 欧州、中東、アフリカなどの一部の地域で発売されたものは、この機能は表示されず、使用できません。

カメラを image.canon に接続して、カメラから直接画像を送信できるようにします。

- インターネットに接続できるスマートフォンおよびブラウザが必要です。
- image.canon のサービスの使い方、対応している国／地域などは image.canon サイト (<https://image.canon/>) を確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

image.canon を登録する

image.canon とカメラを連携できるように、image.canon をカメラに登録します。なお、この設定では、カメラ連携設定をするための通知メールを送りますので、お使いのパソコンやスマートフォンのメールアドレスが必要になります。



1 Wi-Fi メニューを表示する

- [Wi-Fi] ボタンを押します。

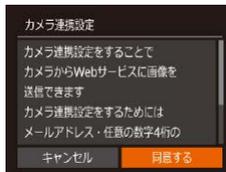


- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[▲] か [▼] を押して [OK] を選び [OK] を押します。



2 [Cloud] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [Cloud] を選び、[OK] を押します。



3 メールアドレス入力許諾に同意する

- 表示される記載を読み [◀] か [▶] を押して [同意する] を選び、[OK] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

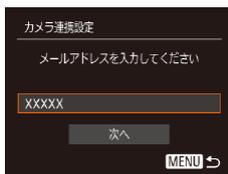
付録

索引





4 アクセスポイントへの接続をはじめ



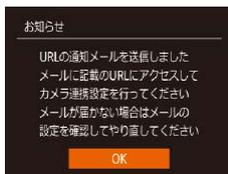
5 メールアドレスを入力する

- カメラがアクセスポイントを経由して image.canon に接続するとメールアドレスを入力する画面が表示されます。
- メールアドレスを入力し、[▲] か [▼] を押して [次へ] を選び、[Ⓜ] を押します。



6 4桁の数字を入力する

- 任意の数字4桁を入力し、[▲] か [▼] を押して [次へ] を選び、[Ⓜ] を押します。
- この4桁の数字は、手順8の image.canon でカメラ連携の設定をするときに必要になります。



7 通知メールが送信されたことを確認する

- image.canon に情報が送られると、手順5で入力したメールアドレスに通知メールが送信されます。
- 通知メールを送信したお知らせの画面が表示されるので、[Ⓜ] を押します。
- [☁] が [☁] になります。



8 受信した通知メールの URL にアクセスしてカメラ連携の設定をする

- パソコンまたはスマートフォンから通知メールに記載してある URL にアクセスします。
- カメラ連携設定ページの案内にしたがって設定します。



9 カメラに image.canon を設定する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [☁] を選び、[Ⓜ] を押します。

! お使いのパソコンまたはスマートフォンのメール設定が、特定ドメインのメールを受信拒否するようになっていると、通知メールを受信できないことがありますので事前に確認してください。

✎ 手順1の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (P100)。
Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示されるので、[◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。

お使いになる前に
基本編
活用編
カメラを知る
オートモード/プラス ムービーオートモード
いろいろな撮影モード
Pモード
再生モード
Wi-Fi機能
設定メニュー
アクセサリ
付録
索引

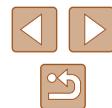
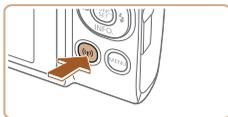


image.canon に画像を送る



1 Wi-Fi メニューを表示する

- [Wi-Fi] ボタンを押します。



2 接続先を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して image.canon のアイコンを選び、[OK] を押します。
- カメラ内の画像が image.canon に送信されます。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。

別のカメラに画像を送る

2 台のカメラ同士で Wi-Fi 接続して画像を送信できます。

- Wi-Fi 接続できるのは、キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラのみです。FlashAir/Eye-Fi カードに対応していても Wi-Fi に対応していないキヤノン製カメラへは接続できません。



1 Wi-Fi メニューを表示する

- [Wi-Fi] ボタンを押します。



2 [カメラ] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [カメラ] を選び、[OK] を押します。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して [接続先の機器の登録] を選び、[OK] を押します。
- 相手のカメラも手順 1～3 を行います。
- 両方のカメラで [接続先のカメラでも通信を開始してください] 画面が表示されると登録がはじまります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

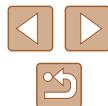
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





4 画像を送る

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [選んで送信] を選び、[Ⓜ] を押します。
- [▲] か [▼] を押して [画像指定] を選び [Ⓜ] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して送信したい画像を選び、[Ⓜ] を押して [✓] を表示させ、[MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[Ⓜ] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [送信] を選び、[Ⓜ] を押します。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押して [OK] を選び [Ⓜ] を押します。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [Ⓜ] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖 24) の [🔗] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選んだあと、[接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (📖 96)。
- 手順 4 の画面で [この画像を送信] を選ぶと、表示している画像を送信できます。

画像送信について

複数の画像を選んで同時に送ったり、記録画素数（画像の大きさ）を変えて送ることができます。

複数の画像を送信する

画像送信画面で、送信する画像を範囲で指定したり、お気に入り設定した画像をまとめて送ることができます。



1 [選んで送信] を選ぶ

- 画像送信の画面で、[◀]か[▶]を押して [選んで送信] を選び、[Ⓜ] を押します。

2 指定方法を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して指定方法を選びます。

範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」の手順 2 (📖 96) の操作で [範囲で指定] を選び、[Ⓜ] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順 2～3 (📖72) の操作で指定します。
- 動画も送信するときは、[▲][▼][◀][▶] を押して [動画含む] を選び、[⏻] を押して [✓] を付けます。
- [▲][▼][◀][▶] を押して [OK] を選び、[⏻] を押します。

3 送信する

- [◀] か [▶] を押して [送信] を選び、[⏻] を押します。

お気に入り設定した画像を送る

お気に入り設定 (📖77) した画像をまとめて送ることができます。

1 【お気に入りの画像】を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」の手順 2 (📖96) の操作で [お気に入りの画像] を選び、[⏻] を押します。
- お気に入り設定した画像だけの画像選択画面が表示されます。画像を選んでから [⏻] を押して [✓] を外し、送信しないようにすることもできます。
- [MENU] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[⏻] を押します。

2 送信する

- [◀] か [▶] を押して [送信] を選び、[⏻] を押します。



- お気に入り設定された画像がないときは、手順 1 で [お気に入りの画像] は選べません。

画像送信時の注意事項

- お使いの通信環境によっては、動画の送信に非常に時間がかかります。バッテリー残量にご注意ください。
- スマートフォンに送信するとき、スマートフォンによっては、送信できる動画の画質に制限があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの使用説明書などを参照してください。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
[📶] 強、[📶] 中、[📶] 弱、[📶] 微弱

記録画素数（画像の大きさ）を選ぶ

画像を送信する画面で、[▲] か [▼] を押して [📷] を選んだあと、[⏻] を押します。表示された画面で [▲] か [▼] を押して、送信する画像の記録画素数（画像の大きさ）を選び、[⏻] を押します。

- [しない] を選ぶと、リサイズされずもとの画像の大きさのままで送信されます。
- [M2] を選ぶと、選んだ記録画素数より大きい画像がリサイズされて送信されます。
- 動画はリサイズできません。



- MENU (📖24) で [📶] タブにある [無線通信の設定] の [Wi-Fi 設定] を選び、[送信時のリサイズ設定] でも設定できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

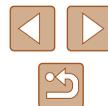
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



スマートフォンでカメラ内の画像やカメラを操作する

スマートフォンの専用アプリケーション Camera Connect を使うと次の操作が行えます。

- カメラ内の画像を一覧で表示したり、スマートフォンに保存したりする
- カメラ内の画像に GPS 情報を記録する (📖98)
- リモート撮影をする (📖98)



- 操作するスマートフォンに対して画像を公開する設定にしておく必要があります (📖90、📖99)。

カメラ内の画像に GPS 情報を記録する

スマートフォンの専用アプリケーション Camera Connect で記録しておいた GPS 情報（緯度、経度、標高など）を、カメラ内の画像に記録することができます。



- 撮影前に「日付／時刻を設定する」(📖16) で日付／時刻と自宅エリアが正しく設定されていることを確認してください。また、旅行先など、自宅エリアと時差のある場所で撮影するときは、「世界時計を使う」(📖103) で訪問先のエリアを設定してください。
- GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

リモート撮影をする

スマートフォンで撮影画面を確認しながら、スマートフォンをリモコン代わりに操作して撮影することができます。

1 カメラを固定する

- リモート撮影をはじめるとカメラのレンズが出てきます。また、ズーム操作によるレンズの動きでカメラが傾くことがあります。三脚に取り付けるなどしてカメラを安定させてください。

2 カメラとスマートフォンを接続する (📖90)

- 画像の公開設定では [はい] を選んでください。

3 リモート撮影を選ぶ

- スマートフォンを操作して、Camera Connect でリモート撮影を選びます。
- カメラのレンズが出てくるので、レンズ付近を押さえたり、物を置かないようにしてください。
- リモート撮影の準備ができると、スマートフォンの画面にカメラからの映像が表示されます。
- カメラの画面にはメッセージが表示され、電源ボタン以外は操作できなくなります。

4 撮影する

- スマートフォンを操作して撮影します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- [P] モードで撮影されます。ただし、あらかじめ設定した FUNC. や MENU の一部が、自動的に変わることがあります。
- 動画は撮影できません。



- 接続環境によっては、スマートフォンに表示されるカメラからの映像がややごちかくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- AF フレームは表示されません。撮影した画像でピントを確認してください。
- 撮影した画像はスマートフォンには転送されません。スマートフォンを操作して、カメラ内の画像を表示して保存してください。

Wi-Fi の設定を編集 / 消去する

Wi-Fi に関する、設定の編集 / 消去方法について説明します。

接続情報を編集する



1 Wi-Fi メニューを表示し、編集する機器を選ぶ

- [(P)] ボタンを押します。
- [◀] か [▶] を押して機器の選択画面を表示したあと、[▲] [▼] [◀] [▶] を押して編集したい機器のアイコンを選び、[(P)] を押します。

2 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して [接続先の機器の編集] を選び、[(P)] を押します。

3 編集する接続先を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して編集したい接続先を選び、[(P)] を押します。

4 編集する項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して編集する項目を選び、[(P)] を押します。
- 編集できる項目は、接続先によって異なります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

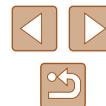
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



編集できる項目	接続先		
			Web サービス
[ニックネームの変更] (📖100)	○	○	-
[画像の公開設定] (📖90)	-	○	-
[接続情報を消去] (📖100)	○	○	-

○：設定可 -：設定不可

■ 接続先のニックネームを変更する

カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）を変更できます。

- 「接続情報を編集する」(📖99) の手順 4 の操作で [ニックネームの変更] を選び、 を押します。
- 入力欄を選んで を押し、表示されたキーボードでニックネームを入力しなおします (📖25)。

■ 接続情報を消去する

接続情報（接続先の機器の情報）を消去できます。

- 「接続情報を編集する」(📖99) の手順 4 の操作で [接続情報を消去] を選び、 を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、 か を押して [OK] を選び、 を押します。
- 接続情報が消去されます。

カメラのニックネームを変える

接続先の機器に表示されるカメラのニックネームを変えることができます。



1 [無線通信の設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、 タブの [無線通信の設定] を選びます (📖24)。



2 [ニックネーム] を選ぶ

- か を押して [ニックネーム] を選び、 を押します。



3 ニックネームを変更する

- を押して表示されたキーボード (📖25) でニックネームを入力します。



- ニックネームの 1 文字目に記号やスペースを入力しようとするとメッセージが表示されます。 を押してから入力しなおしてください。
- はじめて Wi-Fi 機能を使うときに表示される [ニックネームの登録] 画面で、入力欄を選んで を押してキーボードを表示させて、ニックネームを変えることもできます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



Wi-Fi の設定を初期化する

カメラを譲渡したり廃棄したりするときは、Wi-Fi の設定を初期化します。Wi-Fi の設定を初期化すると、Web サービスの設定内容もすべて消去されます。十分に確認してから初期化してください。



1 [無線通信の設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[↑↑] タブの [無線通信の設定] を選びます (📖24)。



2 [設定の初期化] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して [設定の初期化] を選び、[⊗] を押します。

3 初期化する

- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[⊗] を押します。
- Wi-Fi の設定が初期化されます。



- Wi-Fi 以外の設定を初期化するときは、[↑↑] タブの [カメラ設定初期化] を選びます (📖108)。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

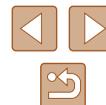
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくする

カメラの基本機能を変える

MENU (📖24) の [🔍] タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。



- [消音] を選び、[する] を選びます。



- [▼] を押したまま電源を入れても、音を鳴らさないようにできます。
- 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき (📖63) の音声も鳴らなくなります。動画再生中に [▲] を押すと音声は鳴り、[▲] か [▼] を押すと音量を調整できます。

音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。



- [音量] を選び、[🔊] を押します。
- 項目を選び、[◀] か [▶] を押して音量を変えます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

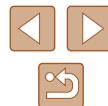
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



機能の説明を表示しない

FUNC. (23) や MENU (24) で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないことができます。



- [機能ガイド] を選び、[切] を選びます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



- [日付／時刻] を選び [OK] を押します。
- [◀] か [▶] を押して項目を選び、[▲] か [▼] を押して設定します。

世界時計を使う

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先(旅行先)のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」(16) で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。



1 訪問先のエリアを設定する

- [エリア設定] を選び、[OK] を押します。
- [▲] か [▼] を押して [訪問先] を選び、[OK] を押します。
- [◀] か [▶] を押して訪問先エリアを選びます。
- [▲] か [▼] を押して [設定] を選び、[◀] か [▶] を押して [設定] にすると、サマータイム(1時間プラスされます)に設定されます。
- [OK] を押します。

2 訪問先のエリアに切り換える

- [▲] か [▼] を押して [訪問先] を選び、[MENU] ボタンを押します。
- 撮影画面(127) に [訪問先] が表示されます。



- [訪問先] の状態で日付／時刻を変える(17) と、[自宅] の日時も自動的に変わります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



レンズ収納時間を変える

撮影状態から [] ボタンを押して約 1 分経過すると、安全のためレンズが収納されます (121)。[] ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を [0 秒] に設定します。



- [レンズ収納時間] を選び、[0 秒] を選びます。

エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消費をおさえる機能です。カメラを操作していないときに、素早く画面を暗くして消費電力をおさえることができます。



1 設定する

- [エコモード] を選び、[入] を選びます。
- 撮影画面 (127) に [ECO] が表示されます。
- カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その約 10 秒後に画面が消えます。約 3 分後には電源が切れます。

2 撮影する

- 画面が消えている状態でもレンズが出ていたときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

節電機能 (オートパワーオフ) の設定を変える

節電機能 (オートパワーオフ) を切ったり、画面が消えるまでの時間 (ディスプレイオフ) を変えたりできます (22)。



- [節電] を選び [] を押します。
- 項目を選んだあと、[] か [] を押して設定を変えます。



- バッテリーの消費を防ぐため、通常は、[オートパワーオフ] を [入] にし、[ディスプレイオフ] を [1 分] 以下にすることをおすすめします。



- [ディスプレイオフ] は、[オートパワーオフ] が [切] のときも働きます。
- エコモード (104) を [入] にしているときは、節電機能は使えません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

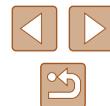
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。



- [画面の明るさ] を選び、[◀] か [▶] を押して明るさを変えます。



- 撮影画面や再生モードで1枚表示のときに [▼] を1秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります ([↑] タブの [画面の明るさ] 設定は無効になります)。もう一度 [▼] を1秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

起動画面を表示しない

電源を入れたときに、起動画面を表示しないようにできます。



- [起動画面] を選び、[切] を選びます。

カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

1 [カードの初期化] 画面を表示する

- [カードの初期化] を選び [ⓘ] を押します。

2 [OK] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して [キャンセル] を選んだあと [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[ⓘ] を押します。



3 初期化する

- [▲] か [▼] を押して [OK] を選び、[ⓘ] を押すと初期化が始まります。
- 初期化が終わると [カードの初期化が完了しました] が表示されるので、[ⓘ] を押します。



- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。



- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ カードを物理フォーマット（初期化）する

[カードが異常です] のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。



- 「カードを初期化する」の手順2 (📖 105) の画面で、[▲] か [▼] を押して [物理フォーマット] を選び、[◀] か [▶] を押して [✓] を表示します。
- 「カードを初期化する」の手順2～3 (📖 105) の操作で、初期化（物理フォーマット）します。



- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」(📖 105) よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に [中止] を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001～9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



- [画像番号] を選び、目的の項目を選びます。

通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。



- [通し番号] [オートリセット] とも、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化 (📖 105) したカードをお使いください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



フォルダを撮影日ごとに作る

撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。



- [フォルダ作成] を選び、[毎日] を選びます。
- 撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、撮影した画像が保存されます。

距離表示の単位を変える

GPS 情報 (標高) (98)、ズームバー (27) などの表示単位を、m/cm から ft/in (フィート/インチ) に変えることができます。



- [単位] を選び、[ft/in] を選びます。

認証マークを確認する

このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



- [認証マーク表示] を選び、[ON] を押しします。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



- [言語] を選び [ON] を押しします。
- [◀] か [▶] を押して言語を選び、[ON] を押しします。



- 再生モードにして、[ON] を押したまま、すぐに [MENU] ボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

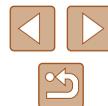
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



その他の基本機能を変える

次の機能も [🔧] タブで設定できます。

- [ビデオ出力方式] (📖111)
- [無線通信の設定] (📖86)

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。

1 [カメラ設定初期化] 画面を表示する

- [カメラ設定初期化] を選び、[📷] を押します。



2 初期状態に戻す

- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[📷] を押します。
- カメラが初期状態に戻ります。



- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - [🔧] タブの [日付/時刻] (📖103)、[エリア設定] (📖103)、[言語] (📖107)、[ビデオ出力方式] (📖111)
 - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ (📖55)
 - 撮影モード
 - Wi-Fi 機能で登録した内容 (📖86)

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

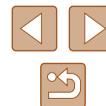
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

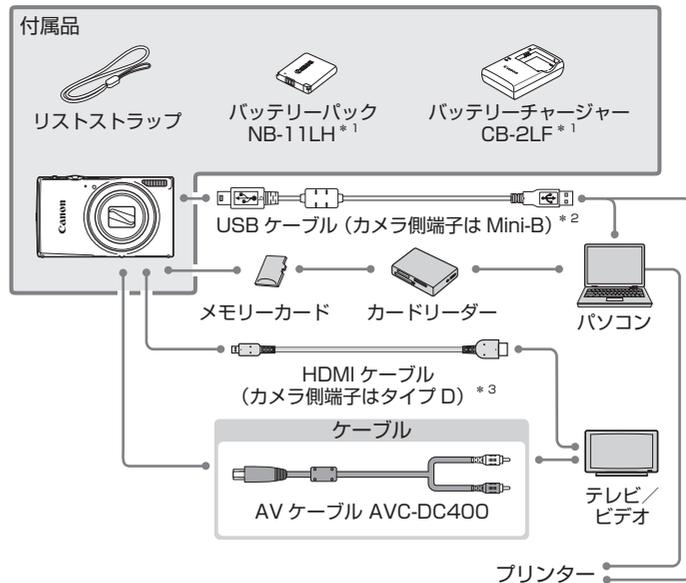
索引



アクセサリ

別売アクセサリや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

システムマップ



*1 別売りも用意されています。

*2 キヤノン純正品 (インターフェースケーブル IFC-400PCU) もあります。

*3 長さ 2.5m 以下の市販品をお使いください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

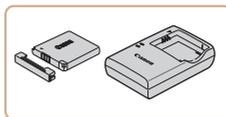


- バッテリーパック NB-11LH は、キヤノン製品専用です。指定外の充電器、および製品と組み合わせて使用した場合の故障、事故に関しては一切保証できません。

別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

電源



バッテリーパック NB-11LH

- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー CB-2LF

- バッテリーパック NB-11LH 用のバッテリーチャージャーです。



- バッテリーには、カバーがついているので、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにカバーを取り付けると、充電状態を見分けることができます。
- バッテリーパック NB-11L もお使いになれます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

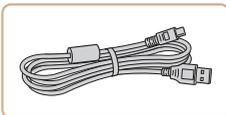
アクセサリ

付録

索引

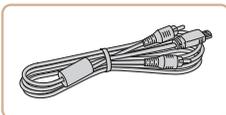


その他



インターフェースケーブル IFC-400PCU

- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。



AV ケーブル AVG-DC400

- 撮影した画像をテレビに表示して楽しめます。

プリンター



プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに撮影した画像を印刷できます。製品の詳細については、ホームページやカタログで確認していただくか、お客様相談センターへお問い合わせください。

別売アクセサリーの使いかた

テレビで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラとテレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることが出来ます。なお、お使いになるテレビとのつながりかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。



- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります (P.128)。

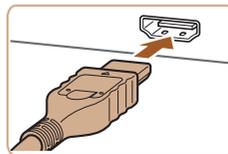
HD (ハイビジョン) 対応テレビで見る

市販の HDMI ケーブル (長さ 2.5 m 以下、カメラ側端子はタイプ D) でカメラと HD 対応テレビをつないでカメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることが出来ます。また、**[FHD]** **[FHD]** で撮影した動画は HD (ハイビジョン) 画質で見ることが出来ます。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。



お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

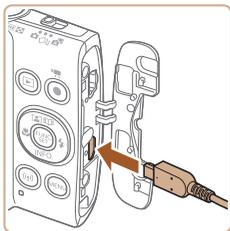
設定メニュー

アクセサリー

付録

索引





- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。

3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順2の操作でつないだ外部入力に切り換えます。



4 カメラの電源を入れる

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。



- HD 対応テレビにつないだときは、操作音は鳴りません。

■ HD（ハイビジョン）非対応テレビで見る

AV ケーブル AVC-DC400（別売）でカメラとテレビをつないで、カメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。

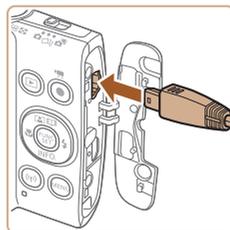
1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの外部入力端子へしっかりと差し込みます。



- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子にしっかりと差し込みます。



3 画像を表示する

- [HD（ハイビジョン）対応テレビで見る] の手順3～4（[111](#)）の操作で画像を表示します。



- 出力方式（NTSC/PAL）があわないと、画像が正しく表示されません。[MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [ビデオ出力方式] で出力方式を変えてください（日本国内の出力方式は、「NTSC」です）。



- カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。ただし、ピント位置拡大（[39](#)）はできません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



印刷する

撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。

なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。



- プリンターによっては印刷できないことがあります。

かんたん印刷

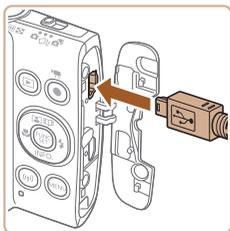
▶ 静止画 ▶ 動画

プリンターに市販の USB ケーブル（カメラ側端子は Mini-B）でカメラをつなぐと、撮影した画像を印刷することができます。

1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつなぎかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。



3 プリンターの電源を入れる

4 カメラの電源を入れる

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。

5 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して画像を選びます。

6 印刷画面を表示する

- [⊕] を押したあと、[凸] を選び、もう一度 [⊕] を押します。

7 印刷する

- [▲] か [▼] を押して [印刷] を選び、[⊕] を押します。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順 5 からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

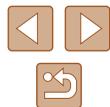
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



印刷設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1～6 (113) の操作でこの画面を表示します。

2 設定する

- 【▲】か【▼】を押して項目を選び、【◀】か【▶】を押して内容を選びます。

📄	標準設定	プリンターの設定にしがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
📄	切	－
	標準設定	プリンターの設定にしがいます。
	切	－
📄	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
	赤目 1	赤く写った目を補正します。
	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	－	印刷する範囲を指定します (114)。
用紙設定	－	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (115)。

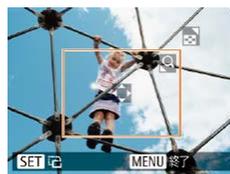
画像を切り抜いて印刷する (トリミング)

画像の一部を切り抜いて印刷することができます。



1 「トリミング」を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1 (114) の操作で印刷画面を表示したあと、「トリミング」を選び、【Ⓜ】を押します。
- 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。



2 切り抜く範囲を指定する

- ズームレバーを動かして枠の大きさを変えます。
- 【▲】【▼】【◀】【▶】を押して枠の位置を変えます。
- 【Ⓜ】を押すと枠が回転します。
- 【MENU】ボタンを押したあと、【▲】か【▼】を押して「領域確定」を選び、【Ⓜ】を押して設定します。

3 印刷する

- 「かんたん印刷」の手順 7 (113) の操作で印刷します。



- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。
- カメラで「日付写し込み」の指定をして撮影した画像をトリミングすると、日付が正しく印刷されないことがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ 用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する



1 [用紙設定] を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1 (📖 114) の操作で印刷画面を表示したあと、[用紙設定] を選び、[⏏] を押します。



2 用紙サイズを選ぶ

- [▲] か [▼] を押して内容を選び、[⏏] を押します。



3 用紙タイプを選ぶ

- [▲] か [▼] を押して内容を選び、[⏏] を押します。



4 レイアウトを選ぶ

- [▲] か [▼] を押して内容を選びます。
- [複数画像] を選んだときは、[◀] か [▶] を押して印刷枚数を選びます。
- [⏏] を押します。

5 印刷する

■ レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしています。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
ID フォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数がLで、縦横比が4:3の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

■ 証明写真を印刷する

1 [ID フォト] を選ぶ

- 「用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する」の手順 1～4 (📖 115) の操作で [ID フォト] を選び、[⏏] を押します。

2 長辺と短辺の長さを選ぶ

- [▲] か [▼] を押して項目を選んだあと、[◀] か [▶] を押して長さを選び、[⏏] を押します。



3 印刷する範囲を選ぶ

- 「画像を切り抜いて印刷する (トリミング)」の手順 2 (📖 114) の操作で印刷する範囲を選びます。



4 印刷する

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



動画を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1～6 (113) の操作で動画を選び、この画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- 「▲」か「▼」を押して「1枚」を選び、「◀」か「▶」を押して印刷方法を選びます。

3 印刷する

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1枚の用紙に並べて印刷します。「キャプション」を「入」にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。



- 印刷中に「Ⓜ」を押したあと、「OK」を選んで「Ⓜ」を押すと印刷が中止されます。
- 「見る」の手順 2～5 (63) の操作で印刷したい動画のシーンを表示したあと、「◀」か「▶」を押して動画操作パネルの「1枚」を選んで「Ⓜ」を押しても、手順 1 の画面が表示できます。

印刷指定 (DPOF)

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷 (118) や写真店への印刷注文をすることができます (最大 998 画像)。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。

印刷内容を指定する

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



- 「MENU」ボタンを押して、「1枚」タブの「印刷の設定」を選んだあと、項目を選び、設定します (24)。

印刷タイプ	スタンダード	1枚の用紙に1枚の画像を印刷
	インデックス	1枚の用紙に縮小画像を複数印刷
日付	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
	入	撮影日を入れて印刷
画像番号	切	—
	入	画像番号を入れて印刷
印刷後指定解除	切	—
	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[!] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。



- [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] の両方を [入] にはできません。
- 一部のキヤノン製プリンター（別売）では、インデックス印刷ができないことがあります。
- 日付の並びは、[🔧] タブの [日付 / 時刻] で設定した内容で印刷されます (📖 16)。

1 枚ずつ枚数を指定する



1 [印刷する画像を指定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[🔧] タブの [印刷する画像を指定] を選び、[🔍] を押します。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して画像を選び、[🔍] を押します。
- 枚数指定ができるようになります。
- [インデックス] では、指定されると [✓] が表示され、もう一度 [🔍] を押すと解除されて [✓] が消えます。



3 枚数を設定する

- [▲] か [▼] を押して枚数を指定します (最大 99 枚)。
- 手順 2～3 の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- [インデックス] では枚数の指定ができません。手順 2 の操作で画像のみを選んでください。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

範囲で指定する



- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1 (📖 117) の操作で [範囲で指定] を選び、[🔍] を押します。
- 「範囲で指定する」の手順 2～3 (📖 72) の操作で指定します。
- [▲] か [▼] を押して [画像指定] を選び、[🔍] を押します。

すべての画像を指定する



- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1 (📖 117) の操作で [すべての画像を指定] を選び、[🔍] を押します。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[🔍] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

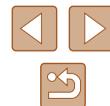
Wi-Fi機能

設定メニュー

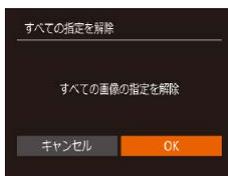
アクセサリ

付録

索引



すべての指定を解除する



- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順1 (📖117) の操作で「すべての指定を解除」を選び、**[MENU]** を押します。
- **[◀]** か **[▶]** を押して **[OK]** を選び、**[MENU]** を押します。

印刷指定 (DPOF) した画像を印刷する



- 印刷指定した画像 (📖116 ~ 📖117) があるときは、カメラとプリンターをつなぐとこの画面が表示されます。**[▲]** か **[▼]** を押して「すぐに印刷」を選び、**[MENU]** を押すと、印刷指定した画像をかんたんに印刷できます。
- 印刷を中断して再開したときは、続きの画像から印刷されます。

フォトブック指定

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定できます (最大 998 画像)。

指定方法を選ぶ



- **[MENU]** ボタンを押して、**[▶]** タブの「フォトブック指定」を選んだあと、指定方法を選びます。



- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、**[!]** が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

1枚ずつ指定する



1 「画像指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」 (📖118) の操作で「画像指定」を選び、**[MENU]** を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

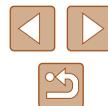
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引





2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して画像を選び、[⊕] を押します。
- [✓] が表示されます。
- もう一度[⊕] を押すと解除され、[✓] が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

すべての画像を指定する



- 「指定方法を選ぶ」(📖118) の操作で [すべての画像を指定] を選び、[⊕] を押します。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[⊕] を押します。

すべての指定を解除する



- 「指定方法を選ぶ」(📖118) の操作で [すべての指定を解除] を選び、[⊕] を押します。
- [◀] か [▶] を押して [OK] を選び、[⊕] を押します。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

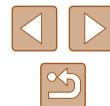
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



付録

カメラを使うときに役立つ情報

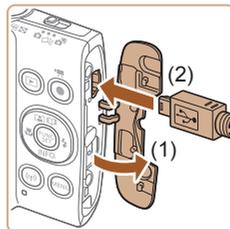
パソコンに画像を取り込む

カードリーダーを使う

カードリーダーを使って画像をパソコンに取り込むことができます。カード内の「DCIM」フォルダにある画像データをパソコンにコピーしてください。

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続する

パソコンに市販の USB ケーブル（カメラ側端子は Mini-B）でカメラをつなぐと、撮影した画像をパソコンへ取り込むことができます。



1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、USB ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。



- USB ケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。



2 電源を入れる

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。

3 OS の機能を使って画像を取り込む

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください (P15)。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください (P15)。
- カード／バッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください (P15)。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

レンズが出たままで収納されない

- 電源を入れたまま、カード／バッテリー収納部ふたを開けないでください。ふたを閉じたあと、電源を入れてからもう一度切ってください (P15)。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

テレビ表示

テレビに表示できない／画面が乱れる (P111)

撮影

撮影できない

- 再生モードのとき (P63) は、シャッターボタンを半押ししてください (P22)。

暗い場所での画面表示がおかしい (P23)

撮影中の画面表示がおかしい

- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。
 - 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

画像に日付が写し込まれない

- [日付/時刻] の設定 (P16) だけでは写し込まれませんので、[日付写し込み] を設定してください (P36)。
- [日付写し込み] が設定 (P36) でできない撮影モード (P132) では、写し込みはされません。

シャッターボタンを押したら、画面に [] が点滅表示されて撮影できない (P30)

シャッターボタンを半押ししたときに、[] が表示される (P30)

- [手ブレ補正] を [入] にしてください (P40)。
- ストロボモードを [] にしてください (P61)。
- ISO感度を高くしてください (P54)。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (P40)。

画像がボケて撮影される

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください (P22)。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください (P137)。
- [AF補助光] を [入] にしてください (P41)。
- 意図しない機能 (マクロ撮影など) が設定されていないか確認してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

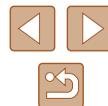
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



シャッターボタンを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボモードを [🔦] にしてください (📖61)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖53)。
- i-コントラストで補正してください (📖54、📖80)。
- スポット測光で撮影してください (📖53)。

被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボモードを [🔦] にしてください (📖36)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖53)。
- スポット測光で撮影してください (📖53)。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる (📖30)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖136)。
- ISO 感度を高くしてください (📖54)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖136)。
- ストロボモードを [🔦] にしてください (📖36)。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください (📖54)。
- 撮影モードによっては ISO 感度が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります (📖45)。

目が赤く写る

- [赤目緩和ランプ] を [入] に設定してください (📖41)。ストロボ撮影のときは、ランプ (前面) (📖4) が点灯して、約 1 秒間は赤目現象を緩和するため撮影できません。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください (📖80)。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください (📖106)。

撮影機能や FUNC. メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「FUNC. メニュー 一覧」、「撮影タブメニュー 一覧」(📖129～📖132) で確認してください。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています (📖105、📖138)。

画面に [🔦] が表示され、撮影が自動的に終わった

- カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。
 - カードをこのカメラで物理フォーマットする (📖106)。
 - 画質を変える (📖38)。
 - 書き込み速度の速いカードを使う (📖138)。

ズームできない

- [🔦] モード (📖47) では、動画撮影中にズームできません。

被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

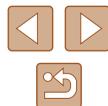
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。

再生が中断する、または音声が途切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください (106)。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム (コマ) 落ちしたり、音声が途切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない

- [消音] を [する] に設定 (102) しているときや、音声が小さいときは、音量を調整してください (102)。
- [録音] モード (47) では音声が録音されていないため、音は出ません。

[▲] を押ししてもストーリーハイライトのホーム画面を表示できない

- プリンターと接続しているときは、ホーム画面を表示できません。接続を解除してください。
- Wi-Fi 接続中は、ホーム画面を表示できません。接続を解除してください。

カード

カードが認識されない

- カードを入れたままで、もう一度電源を入れなおしてください (21)。

Wi-Fi

[?] ボタンを押しても Wi-Fi メニューを表示できない

- カメラをプリンターまたはパソコンとケーブルでつないでいるときは Wi-Fi メニューは表示できません。ケーブルを外してください。

カメラに接続先を登録できない

- カメラに登録できる接続情報は、あわせて 20 件までです。不要な接続情報を削除してから新しい接続先を登録してください (99)。
- Web サービスの登録は、パソコンまたはスマートフォンを使って設定してください (93)。

- スマートフォンの登録は、スマートフォンに専用アプリケーション「Camera Connect」をインストールしてから行ってください (87)。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。

アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネル (136) で通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。

画像を送信できない

- 接続先の空き容量が不足しています。接続先の空き容量を増やしてから再度送信してください。

画像をリサイズして送信できない

- もとの画像より大きい記録画素数にはリサイズできません。
- 動画はリサイズできません。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

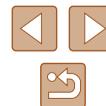
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- 複数の画像を送信すると時間がかかることがあります。送信時にリサイズすると、送信時間を短くできます (P.97)。
- 動画を送信すると非常に時間がかかることがあります。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。なお、[Wi-Fi] が表示されていても、画像の送信に時間がかかることがあります。
- 本製品と接続先の機器 (アクセスポイントなど) を近づけて、その間に物を置かないでください。

カメラに image.canon を登録するときに、パソコンやスマートフォンに通知メールが届かない

- 入力するメールアドレスに誤りがないか確認し、登録をやり直してください。
- パソコンまたはスマートフォンのメール設定を確認してください。特定ドメインのメールを受信拒否にしていると受信できないことがあります。

カメラを譲渡または廃棄するので、Wi-Fi の接続情報を消したい

- Wi-Fi の設定を初期化してください (P.101)。

画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

撮影、再生中

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます (P.15)。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます (P.15)。

カードが異常です (P.106)

- 使えるカード (P.2) を初期化して正しい向きで入れても (P.15) 同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影 (P.27、P.43、P.52) や編集 (P.78) はできません。画像を消して (P.73) 空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します (P.15)。

バッテリーを充電してください (P.15)

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています (P.71)

認識できない画像です／互換性のない JPEG です／画像が大きすぎます／再生できません (MOV)

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



拡大できない画像です／連想再生できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です／処理できません／指定できない画像です

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。

拡大 (📄69)*、連想再生 (📄70)*、回転 (📄75)*、お気に入り (📄77)、編集 (📄78)*、印刷指定 (📄116)*、フォトブック指定 (📄118)*

指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定 (📄72、📄75、📄117) するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとした。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定 (📄116) やフォトブック指定 (📄118) の画像を 998 枚より多く指定しました。指定する画像を 998 枚以下にします。
- 印刷指定 (📄116) やフォトブック指定 (📄118) を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護 (📄71)、消去 (📄73)、お気に入り (📄77)、印刷指定 (📄116)、フォトブック指定 (📄118) で、501 枚以上の画像を指定しようとした。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大 (999) になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大 (9999) になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。[📄] タブで [画像番号] を [オートリセット] に変えるか (📄106)、カードを初期化します (📄105)。

レンズエラーを検知しました

- レンズ動作中にレンズを押さえたり、ホコリや砂ボコリの立つ場所などでカメラを使うと表示されることがあります。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました (エラー番号)

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号 (Exx) を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷 (📄113) できないことがあります。

印刷エラー

- 用紙サイズの設定を確認してください (📄115)。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキヤノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口にインク吸収体の交換を依頼してください。

Wi-Fi

接続に失敗しました

- アクセスポイントを認識できませんでした。アクセスポイントの設定を確認してください。
- 接続先が見つかりませんでした。カメラの電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- 接続先の機器が、接続できる状態になっているか確認してください。

アクセスポイントが特定できません

- 複数のアクセスポイントの WPS ボタンが同時に押されました。接続をやり直してください。

アクセスポイントが見つかりませんでした

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- アクセスポイントを手動で指定している場合は、入力した SSID が正しいか確認してください。

パスワードが正しくありません / Wi-Fi のセキュリティ設定が正しくありません

- アクセスポイントのセキュリティ設定を確認してください。

IP アドレスが重複しています

- 他の機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



接続が切断されました / 受信に失敗しました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

送信に失敗しました

カードが異常です

- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

受信に失敗しました

カード残量が足りません

- 画像を受信するカメラに入っているカードに空き容量がないため、画像を受信できません。画像を消して空き容量を増やすか、空き容量のあるカードに交換してください。

受信に失敗しました

ファイル名が作成できません

- 画像を受信するカメラのフォルダ番号が最大値（999）で、かつ画像番号も最大値（9999）のときは受信できません。

ネットワーク設定を確認してください

- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

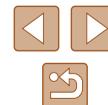
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

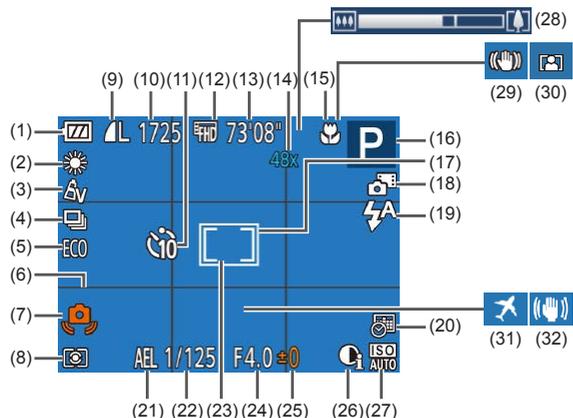
付録

索引



画面の表示内容一覧

撮影時（情報表示あり）



- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| (1) バッテリー残量表示 (127) | (11) セルフタイマー (35) |
| (2) ホワイトバランス (55) | (12) 動画の画質 (38) |
| (3) マイカラー (55) | (13) 撮影可能時間 (138) |
| (4) ドライブモード (37) | (14) ズーム倍率 (33)、デジタルテレコンバーター (58) |
| (5) エコモード (104) | (15) フォーカスゾーン (57) |
| (6) グリッドライン (39) | (16) 撮影モード (129)、シーンアイコン (31) |
| (7) 手ブレ警告 (30) | (17) AF フレーム (58) |
| (8) 測光方式 (53) | (18) プラスムービーオートモード (29) |
| (9) 静止画の圧縮率 (62)、記録画素数 (38) | (19) ストロボモード (61) |
| (10) 撮影可能枚数 (138) * | |

- | | |
|--------------------|---------------------|
| (20) 日付写し込み (36) | (27) ISO 感度 (54) |
| (21) AE ロック (53) | (28) ズームバー (27) |
| (22) シャッタースピード | (29) 手ブレ補正アイコン (32) |
| (23) スポット測光枠 (53) | (30) オートズーム (34) |
| (24) 絞り数値 | (31) エリア設定 (103) |
| (25) 露出補正量 (53) | (32) 手ブレ補正 (40) |
| (26) i-コントラスト (54) | |

* [] モードでは、撮影できる回数が表示されます。

バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

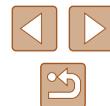
Wi-Fi機能

設定メニュー

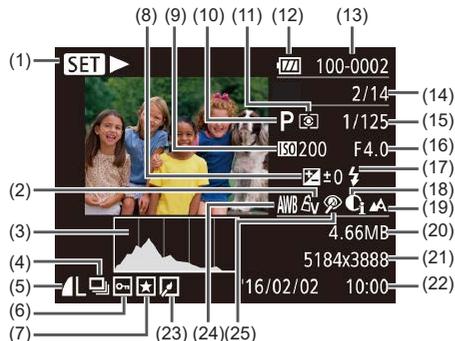
アクセサリ

付録

索引



再生時（詳細情報表示）



- | | |
|--|---|
| (1) 動画再生 (1063)、
ダイジェスト動画のリンク再
生 (1066)、グループ再生
(1068) | (13) フォルダ番号-画像番号
(1106) |
| (2) マイカラー (1055)、クリエイティブ
ショット効果 (1043) | (14) 再生画像番号/総画像数 |
| (3) ヒストグラム (1065) | (15) シャッタースピード (静止画)、画
質/フレーム数 (動画) (1038) |
| (4) グループ再生 (1068)、ダイ
ジェスト動画 (1065) | (16) 絞り数値 |
| (5) 圧縮率 (画質) (1062) / 記録
画素数 (1038)、MP4 (動画) | (17) ストロボ発光 (1061) |
| (6) 保護 (1071) | (18) i-コントラスト (1054、
1080) |
| (7) お気に入り (1077) | (19) フォーカスゾーン (1057) |
| (8) 露出補正量 (1053) | (20) ファイルサイズ |
| (9) ISO 感度 (1054)、倍速
(1047) | (21) 静止画：記録画素数 (1038)
動画：再生時間 (1038) |
| (10) 撮影モード (1029) | (22) 撮影日時 (1016) |
| (11) 測光方式 (1053) | (23) 画像編集 (1078) |
| (12) バッテリー残量表示 (1027) | (24) ホワイトバランス (1055) |
| | (25) 赤目補正 (1080) |



- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります (111)。

動画操作パネル一覧

「見る」(1063) で表示される動画操作パネルでは、次の操作ができません。

	終了
	再生
	スロー再生 ([◀] か [▶] を押して再生速度を変更) (音声は再生されません)
	前スキップ*または前のチャプター (1082) ([⏮] を押したままにすると連続戻し)
	フレーム戻し ([⏪] を押したままにすると早戻し)
	フレーム送り ([⏩] を押したままにすると早送り)
	次スキップ*または次のチャプター (1082) ([⏭] を押したままにすると連続送り)
	チャプター消去 (ダイジェスト動画を選んでいるとき (1082) に表示)
	編集 (1081)
	プリンターとつないだとき (1113) に表示

* 約 4 秒前または後のフレームを表示



- 動画再生中に [◀] か [▶] を押すと、前スキップ/次スキップまたは前後のチャプターへのジャンプができます。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



機能 / メニュー 一覧

撮影機能一覧

機能	撮影モード															
			AUTO	P												
露出補正 (📖53)	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
ストロボ (📖61)	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○
	*1	-	*1	○	-	-	-	-	-	*1	-	-	-	-	-	-
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フォーカスゾーン (📖57)																
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-
キャッチ AF 被写体指定 (📖59)	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	○
撮影情報表示切り換え (📖23)	○	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○

* 1 選択不可。ただし状況に応じて

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



FUNC. メニュー 一覧

機能	撮影モード															
	📷	📷	AUTO	P	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷	📷
測光方式 (📖53)																
📷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
📷	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイカラー (📖55)																
📷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
📷	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○
ホワイトバランス (📖55)																
AWB	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
📷	-	-	-	○	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○
ISO 感度 (📖54)																
AUTO	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80 / 100 / 200 / 400 / 800 / 1600 / 3200	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セルフタイマー (📖35)																
📷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
📷	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
セルフタイマー設定 (📖35)																
時間*3	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
枚数*4	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
ドライブモード (📖37)																
📷	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
📷	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○	○	○	-

* 1 ホワイトバランスは選択不可

* 2 コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤・緑・青・肌色を5段設定

* 3 枚数設定不可のモードでは0秒設定不可

* 4 枚数設定不可のモードでは1枚固定

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



撮影タブメニュー 一覧

機能	撮影モード																					
AF フレーム (📖58)																						
顔優先 AiAF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	○		
キャッチ AF	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	
中央	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	-	○	-	○
AF フレームサイズ (📖58) *1																						
標準	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	○	○	-	○	○	○	○	-	○	-	○	
小	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○	○	○	○	-	○	-	○	
デジタルズーム (📖33)																						
入	○	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	○
切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレコン 1.6x / テレコン 2.0x	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ピント位置拡大 (📖39)																						
入	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-
切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サーボ AF (📖60)																						
入	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-
切	○	○	*2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コンティニユアス AF (📖61)																						
入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-
切	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-

* 1 AF フレームで [中央] 選択時に可

* 2 [AUTO] モードでは動きを検出したときは [入]

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

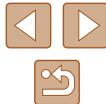
索引



機能		撮影モード																			
		入	切	AUTO	P	シ	CC	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	
AF 補助光 (41)		入	切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ストロボ設定 (41)		赤目緩和ランプ	入/切	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
i-コントラスト (54)		オート	切	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
撮影直後のレビュー表示 (42)		表示時間	切/クイック	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			2秒/4秒/8秒/ホールド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		表示情報	非表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			詳細表示	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グリッドライン (39)		入/切		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手ブレ補正設定 (40)		手ブレ補正	切	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
			入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			撮影時	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
		ダイナミック IS	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
			2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
日付写し込み (36)		切	日付のみ/日付+時刻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイジェスト形式 (29)		静止画入り/静止画なし		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 選択可能または自動設定 - 選択不可

- お使いになる前に
- 基本編
- 活用編
 - カメラを知る
 - オートモード/プラスムービーオートモード
 - いろいろな撮影モード
 - Pモード
 - 再生モード
 - Wi-Fi機能
 - 設定メニュー
 - アクセサリ
 - 付録
- 索引



設定タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
消音	📖102
音量	📖102
機能ガイド	📖103
日付 / 時刻	📖16
エリア設定	📖103
レンズ収納時間	📖104
エコモード	📖104
節電	📖22、📖104
画面の明るさ	📖105
起動画面	📖105
カードの初期化	📖105
画像番号	📖106
フォルダ作成	📖107
単位	📖107
ビデオ出力方式	📖111
無線通信の設定	📖86
認証マーク表示	📖107
言語	📖18
カメラ設定初期化	📖108

再生タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
アルバムを再生	📖83
ダイジェスト動画の一覧 / 再生	📖66
スライドショー	📖69
消去	📖73
保護	📖71
回転	📖75
お気に入り	📖77
フォトブック指定	📖118
トコントラスト	📖80
赤目補正	📖80
トリミング	📖78
リサイズ	📖78
レタッチマイカラー	📖79
再生効果	📖63
スクロール再生	📖63
グループ表示	📖68
縦横自動回転	📖76
再生開始位置	📖63

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

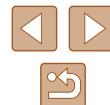
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



印刷タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
印刷	-
印刷する画像を指定	117
範囲で指定	117
すべての画像を指定	117
すべての指定を解除	118
印刷の設定	116

再生モードの FUNC. メニュー 一覧

項目	参照ページ
回転	75
保護	71
お気に入り	77
消去	73
印刷	113
グループ再生	68
動画再生	63
ダイジェスト動画のリンク再生	66
連想再生	70
画像の検索	67
スライドショー	69

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押しついたりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のプロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。バッテリー、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは1年に1回程度充電し、使い切ってから保管してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



主な仕様

カメラ

撮像素子

カメラ部有効画素数 (画像処理により画素数が減少する ことがある。)	約 2020 万画素
総画素数	約 2110 万画素
イメージサイズ	1/2.3 型

レンズ

焦点距離 (35mm フィルム換算値)	4.5 - 54.0 mm (25 - 300 mm)
ズーム倍率	12 倍

デジタルズーム

倍率	約 4 倍
光学ズームと合わせた最大倍率	約 48 倍
焦点距離 (Tele 端、35mm フィルム換算値)	約 1200 mm 相当

画面 (モニター)

形式	TFT カラー液晶
画面サイズ	3.0 型
有効画素数	約 46.1 万ドット

連続撮影 (CIPA 準拠)

撮影速度 (被写体、ズーム位置などの撮影条件、 カードの銘柄などにより変わる。)	AUTO/P モード通常連続撮影： 約 2.5 枚 / 秒 ハイスピード連写モード通常連続 撮影：約 7.2 枚 / 秒
--	---

内蔵ストロボ

調光範囲 (Wide 端)	50 cm - 4.0 m
調光範囲 (Tele 端)	1.0 - 2.0 m

シャッタースピード

撮影モード「オート」時 (自動設定)	1 - 1/2000 秒
全撮影モードをあわせた範囲	
最長	15 秒
最短	1/2000 秒
設定できる値 (単位：秒)	長秒時撮影モード 15, 13, 10, 8, 6, 5, 4, 3.2, 2.5, 2, 1.6, 1.3, 1

絞り

F 値	3.6 / 10 (W) 7.0 / 20 (T)
-----	------------------------------

AF

AF フレームモード	顔優先 AiAF (AF フレーム数： 最大 9)、キャッチ AF、中央
------------	---

ファイルフォーマット	DCF 準拠、DPOF 対応 (Version 1.1)
------------	---------------------------------

データタイプ (静止画)

画像ファイルフォーマット	Exif 2.3 (DCF 2.0)
画像タイプ	JPEG

データタイプ (動画)

記録形式	MP4
映像	MPEG-4 AVC/H.264
音声	MPEG-4 AAC-LC (モノラル)

電源

バッテリーパック	NB-11LH
----------	---------

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



インターフェース

有線.....	Hi-Speed USB(Mini-B) アナログ音声出力 (モノラル) アナログ映像出力 (NTSC/PAL) HDMI コネクタ D タイプ
無線.....	Wi-Fi 規格: IEEE 802.11b/g/n 周波数帯: 2.4 GHz 帯 チャンネル: 1-11 ch セキュリティ: WEP、 WPA-PSK (AES/TKIP)、 WPA2-PSK (AES/TKIP) NFC

動作環境

温度.....0 - 40 °C

大きさ (CIPA 準拠) (WxHxD).....99.6 x 58.0 x 22.8 mm

質量 (CIPA 準拠)

バッテリーパック・

メモリーカード含む.....約 147 g

本体のみ.....約 130 g

撮影できる枚数・時間、再生できる時間

静止画撮影枚数 (CIPA 準拠)	約 180 枚
静止画撮影枚数 (エコモード時)	約 265 枚
動画撮影時間 (CIPA 準拠) *1	約 40 分
動画撮影時間 (連続撮影時) *2	約 1 時間 10 分
再生時間 *3	約 4 時間

* 1 以下の条件にて繰り返し撮影したときの合計時間

- [AUTO] モードにし、それ以外は初期状態
- 撮影 / 停止、ズーム、電源の入 / 切

* 2 以下の条件にて繰り返し撮影したときの合計時間

- [AUTO] モードにし、それ以外は初期状態
- 一度に撮影できる時間が容量に達して自動停止 / 再開

* 3 静止画をスライドショーで再生したときの時間です。

撮影距離

撮影モード	フォーカス ゾーン	もっとも広角側 () にしたとき	もっとも望遠側 () にしたとき
AUTO	-	1 cm - ∞	1.0 m - ∞
上記以外		5 cm - ∞	1.0 m - ∞
		1 - 50 cm	-
		3.0 m - ∞	3.0 m - ∞

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



■ 1枚のカードに撮影できる枚数

縦横比 (3:4) が 4:3 のときに、1枚のカードに撮影できる枚数は次のとおりです。なお、縦横比によって撮影できる枚数は変わります。

16 GB のカードに記録できる枚数 (約・枚)

L		1766
		2980
M1		3546
		5925
M2		9344
		16755
M		10798
S		53992
		80988

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。

■ 1枚のカードに撮影できる時間

画素数	16 GB のカードに記録できる時間 (約)	1 回の記録時間 (約)
Full HD (1920 x 1080)	1 時間 8 分 34 秒	29 分 59 秒
Full HD (1280 x 720)	3 時間 58 分 1 秒	29 分 59 秒
4K (640 x 480)	8 時間 25 分 48 秒	1 時間

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 1 回の記録時間は、SD スピードクラス 10 のカード使用時の値です。スピードクラスが低い場合は撮影中に停止することがあります。また、ファイル容量が 4 GB またはメモリーカードの容量いっぱいのいずれかになると撮影が自動で停止します。

■ バッテリーパック NB-11LH

形式： リチウムイオン充電電池
公称電圧： DC 3.6 V
公称容量： 800 mAh
充放電回数： 約 300 回
使用温度： 0 - 40°C

■ バッテリーチャージャー CB-2LF

定格入力： AC 100 V - 240 V (50/60 Hz)
定格出力： DC 4.2 V、0.41 A
充電時間： 約 2 時間 20 分
使用温度： 5 - 40°C

- 大きさ、質量、撮影枚数は、CIPA (カメラ映像機器工業会) の試験基準によります。
- 撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。
- フル充電状態での枚数・時間です。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



索引

アルファベット

A

AEロック 53
AF フレーム 58
AV ケーブル 111, 112

C

Camera Connect 87

D

DPOF 116

F

FUNC. メニュー
一覧 130, 135
基本操作 23

H

HDMI ケーブル 111

I

ISO 感度 54
i-コントラスト 54, 80

M

microSD/microSDHC/
microSDXC カード → カード

P

P (撮影モード) 52

W

Web サービスへの送信 93
Wi-Fi 機能 86
Wi-Fi メニュー 90

かな

あ

赤目補正 80
アクセサリ 110
圧縮率 (画質) 62

い

色あい (ホワイトバランス) 55
印刷 113

う

ウイנקセルフタイマー (撮影モード)
49
打上げ花火 (撮影モード) 45

え

エコモード 104
エラー表示 124

お

オートシャッター (撮影モード) 49
オートモード (撮影モード) 18, 27
オールドポスター (撮影モード) 46
お気に入り設定 77
音 102

か

カード 2
撮影できる時間 138

海外で使う 103
回転 75

顔セルフタイマー (撮影モード) 50
顔優先 AiAF (AF フレームモード)
58

拡大表示 69
画質 → 圧縮率 (画質)
画像

消す 73
再生 → 見る
表示時間 42
保護 71

画像番号 106
画像を送る 96

カメラ

設定初期化 108
カメラアクセスポイントモード 92
カメラへの送信 95

画面

表示一覧 127, 128
表示言語 18
メニュー → FUNC. メニュー、
メニュー

き

キャッチ AF 59
魚眼風 (撮影モード) 46
記録画素数 (画像の大きさ) 38

く

クリエイティブショット 43
グリッドライン 39

け

消す 73
検索 67

こ

極彩色 (撮影モード) 46
故障 121

さ

サーボ AF 60
再生 → 見る
撮影
撮影情報 127
撮影日時 → 日付/時刻

し

ジオラマ風 (撮影モード) 47
消去 → 消す
初期状態 → 設定初期化
白黒画像 56

す

ズーム 19, 28, 33
ストーリーハイライト 83
ストラップ 2, 14
ストロボ
常時発光 61
スローシンクロ 61
発光禁止 36, 62
スマートフォンへの送信 87
スマイル (撮影モード) 49
スライドショー 69

せ

世界時計 103
接続情報の編集 / 消去 99
設定初期化 108

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



節電 22
セピア調画像 56
セルフタイマー 35
 2秒セルフタイマー 35
 ウインクセルフタイマー（撮影
 モード）49
顔セルフタイマー（撮影モード）
50
タイマー時間と撮影枚数を変え
る 35

そ

測光方式 53

た

縦横比を変える 37
端子 112, 113

ち

中央（AF フレームモード）60
長秒時撮影（撮影モード）51

て

デジタルズーム 33
デジタルテレコンバーター 58
手ブレ補正 40
手持ち夜景（撮影モード）45
テレビで見る 111
電源 110 → バッテリー、→ バッ
 テリーチャージャー（充電器）
電池 → 日付／時刻（日付／時刻用電
池）
 節電 22

と

トイカメラ風（撮影モード）48

動画

画質（記録画素数 / フレーム数）
38
撮影時間 138
編集 81
時計機能 26
トリミング（画像の切り抜き）78,
114

に

日時 → 日付／時刻

は

ハイスピード連写（撮影モード）51
バッテリー
 エコモード 104
 残量表示 127
 充電 15
 節電 22
バッテリーチャージャー（充電器）2,
110
花火 → 打上げ花火（撮影モード）

ひ

日付／時刻
 画像への写し込み 36
 世界時計 103
 設定 16
 日付／時刻用電池 17
 変更 17
表示言語 18
ピント合わせ
 AF フレーム 58
 サーボ AF 60
 ピント位置拡大 39

ふ

フォーカスゾーン
 マクロ 57
フォーカスロック 60
フォトブック指定 118
付属品 2
ブラスミーオート（撮影モード）
29
プリント → 印刷
プログラム AE 52

へ

編集

i-コントラスト 80
赤目補正 80
トリミング（画像の切り抜き）
78
リサイズ（画像を小さくする）
78
レタッチマイカラー 79

ほ

ポートレート（撮影モード）45
保護 71
ホワイトバランス（色あい）55

ま

マイカラー 55
マクロ（フォーカスゾーン）57
マニュアルホワイトバランス 55

み

見る 20
 1枚表示 20
 インテックス表示 66
 拡大表示 69
 画像の検索 67

スライドショー 69
テレビで見る 111
連想再生 70

め

メニュー
 一覧 129
 基本操作 24
メモリーカード → カード

も

モノクロ（撮影モード）48

ら

ランプ 26, 41

り

リサイズ（画像を小さくする）78
リモート撮影 98

れ

レタッチマイカラー 79
連想再生 70
連続撮影
 ハイスピード連写（撮影モード）
 51

ろ

ローライト（撮影モード）45
露出
 補正 53

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

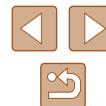
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



Wi-Fi（無線 LAN）について

- 無線 LAN が使える国や地域について
 - 無線 LAN 機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線 LAN 機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトで確認してください。
 - なお、それ以外の国や地域で無線 LAN 機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
 - 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解、または改造すること
 - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
 - 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
 - 本製品には、米国製暗号化ソフトウェアが搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
 - ご使用になる無線 LAN の設定については、必ず控えを取ってください。
- 本製品に登録した無線 LAN の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。万一に備え、無線 LAN の設定は控えを取っておいてください。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは、必要に応じて無線 LAN の設定の控えを取った上で、無線 LAN の設定を初期化（消去）してください。

- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。
紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本書に記載している使用方法をお守りください。
本製品の無線 LAN 機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線 LAN 機能は使用しないでください。
無線 LAN 機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波干渉について

- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

セキュリティについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。
Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う
本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしていたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受
悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

■ 商標、ライセンスについて

- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- microSDXC ロゴは SD-3C LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- DCF は、(社) 電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、キャノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™ および Wi-Fi Protected Setup™ は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

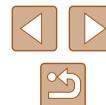
Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引



- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)



このガイドについて

- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

お使いになる前に

基本編

活用編

カメラを知る

オートモード/プラス
ムービーオートモード

いろいろな撮影モード

Pモード

再生モード

Wi-Fi機能

設定メニュー

アクセサリ

付録

索引

